



2016年12月号
投信マーケット
MAB アナリスト・アイ

2016年12月15日作成



目次

I. 投信マーケットの動き

11月の市場動向	P 4
投資信託全体	P 5 ~ P 1 0
国内株式	P 1 1
国内債券	P 1 2
先進国株式	P 1 3
エマージング株式	P 1 4
先進国債券	P 1 5
エマージング債券	P 1 6
ハイイールド債券	P 1 7
REIT	P 1 8
複合資産	P 1 9
資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移	P 2 0 ~ P 2 5

II. 今月のトピック

『2018年10月より

株式の売買単位はすべて100株に』 P 2 6 ~ P 3 1

I . 投信マーケットの動き

金融市場動向

- ◆ 11月8日に行われた米大統領選では、大方の予想に反し共和党のトランプ氏の当選が確実となると、一時世界的にリスクオフの動きとなったが、その後は同氏の大規模な減税や財政出動、規制緩和の推進等の政策による歳出拡大・景気拡大への期待から、米国株、米長期金利が大きく上昇した。為替市場でも、米ドルは主要通貨に対して大きく上昇し、これらの上昇が世界の金融市場全体に波及する展開となった。
- ◆ 株式市場は、日本では、米大統領選の結果を受けた円安の進行から大幅に上昇した。米国では、良好な経済指標を追い風に連日で史上最高値を更新した。新興国では、米国の保護主義政策への懸念や米長期金利の上昇による米ドル高から、資金が流出した。
- ◆ 債券市場は、米国を発端に世界的に長期金利が上昇した。日本でも、日銀の長短金利操作があったものの、長期金利は9カ月ぶりにわずかにプラス圏に浮上した。
- ◆ 為替市場は、米国の財政拡張政策が経済成長をもたらすとの見方から主要通貨に対し米ドル高が進行した。リスク回避通貨である円は、特に大きく売られ、多くの通貨に対して円安が進行した。

投信マーケット動向

- ◆ 11月の公販ファンドの資金流出入(MAB推計)は3,670億円の流出超となった。円安株高の進行により利益確定売りが出た一方で、これまで資金流入の牽引役だったリートが流出に転じたことが影響した。
- ◆ 資金流入では、先進国株式(220億円)、エマージング株式(200億円)とわずかな金額にとどまった。個別ファンドでは、「LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)」(326億円)が1位。次いで、「ダイワノミレーアセット亜細亜株式ファンド」(281億円)、新規設定の「米国バリュー・ストラテジー・ファンド A」(264億円)と続いている。
- ◆ 資金流出では、円安や米国株高の影響によりパフォーマンスが改善した、国内株式(2,820億円)、先進国債券(1,250億円)を中心に利益確定売りが広がった。
- ◆ 資産別のリターンでは、先進国株式がトップ。次点では、国内株式が続き、株式ファンドの上昇が顕著なものとなっている。一方で、新興国資産は、為替は円安にふれたが、米金利上昇による資金流出懸念から資産自体は下落し、上昇幅は限定的だった。

💡 先進国資産を中心に大幅上昇

- 米大統領選後に米国の株式市場が最高値を更新したことや、円安が進行したことで、先進国株式を中心にパフォーマンスは大きく向上した。
- 新興国資産も円安の影響によりパフォーマンスがプラスとなつてはいるものの、米金利上昇による資金流出懸念から、資産自体は下落したことで上昇幅は限定的だった。

<各資産のリターン順位の推移> 2015年12月～2016年11月の月次、直近3ヵ月・直近6ヵ月・1年間

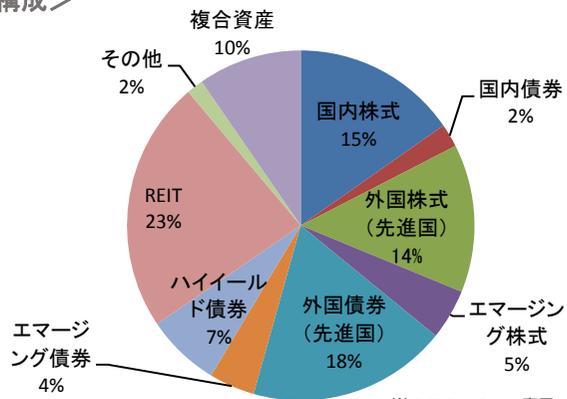
	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	2016年11月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年
リターン 上位	国内債券 0.3%	国内債券 0.6%	国内債券 0.7%	エマーヅング株式 10.6%	ハイイールド債券 1.4%	国内株式 2.3%	国内債券 0.8%	エマーヅング株式 7.1%	エマーヅング株式 0.7%	国内株式 1.2%	国内株式 5.2%	先進国株式 7.1%	国内株式 11.7%	ハイイールド債券 7.6%	国内債券 1.9%
	REIT -0.9%	先進国債券 -1.5%	REIT -0.2%	エマーヅング債券 6.9%	先進国株式 0.6%	国内債券 0.2%	エマーヅング債券 -1.4%	先進国株式 6.3%	ハイイールド債券 0.3%	国内債券 0.1%	ハイイールド債券 3.9%	国内株式 4.9%	先進国株式 7.0%	エマーヅング株式 6.8%	ハイイールド債券 0.9%
	先進国債券 -1.8%	エマーヅング債券 -2.9%	エマーヅング債券 -2.8%	国内株式 6.7%	エマーヅング株式 0.5%	先進国株式 -0.3%	REIT -3.7%	REIT 4.9%	エマーヅング債券 0.0%	ハイイールド債券 -0.4%	エマーヅング債券 3.0%	先進国債券 3.7%	ハイイールド債券 6.8%	国内株式 5.7%	エマーヅング債券 -0.6%
	国内株式 -2.2%	REIT -4.2%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド債券 6.6%	国内債券 0.5%	先進国債券 -0.8%	ハイイールド債券 -4.0%	国内株式 4.7%	先進国債券 -0.6%	エマーヅング債券 -0.5%	エマーヅング株式 2.9%	REIT 3.6%	先進国債券 4.4%	エマーヅング債券 4.4%	REIT -2.7%
	先進国株式 -3.1%	ハイイールド債券 -4.5%	ハイイールド債券 -3.4%	先進国株式 6.6%	エマーヅング債券 0.3%	REIT -0.9%	エマーヅング株式 -4.1%	ハイイールド債券 4.6%	国内債券 -0.7%	エマーヅング株式 -0.9%	先進国債券 2.0%	ハイイールド債券 3.2%	エマーヅング株式 3.3%	先進国株式 4.4%	エマーヅング株式 -2.7%
	エマーヅング株式 -3.2%	国内株式 -7.7%	エマーヅング株式 -3.6%	REIT 5.9%	REIT -0.4%	ハイイールド債券 -1.8%	先進国債券 -4.8%	エマーヅング債券 2.7%	先進国株式 -0.7%	先進国債券 -1.3%	先進国株式 1.3%	エマーヅング株式 1.3%	エマーヅング債券 3.1%	先進国債券 1.2%	先進国株式 -4.9%
	エマーヅング債券 -3.7%	先進国株式 -9.3%	先進国債券 -4.5%	先進国債券 3.5%	国内株式 -0.6%	エマーヅング株式 -2.3%	先進国株式 -7.6%	先進国債券 2.5%	国内株式 -1.1%	先進国株式 -1.4%	国内債券 -0.2%	エマーヅング債券 0.6%	REIT -0.5%	国内債券 -0.9%	国内株式 -5.5%
リターン 下位	ハイイールド債券 -4.3%	エマーヅング株式 -10.2%	国内株式 -8.7%	国内債券 0.4%	先進国債券 -1.5%	エマーヅング債券 -2.4%	国内株式 -8.6%	国内債券 -0.5%	REIT -2.3%	REIT -1.7%	REIT -2.3%	国内債券 -0.4%	国内債券 -0.6%	REIT -1.9%	先進国債券 -5.5%
MAB 300	-1.9%	-5.0%	-4.0%	5.1%	-0.3%	0.0%	-4.9%	4.1%	-1.0%	-0.6%	1.7%	3.9%	4.9%	2.8%	-3.5%

※ E T F、S M A 専用、D C 専用ファンドを除いた公募投資

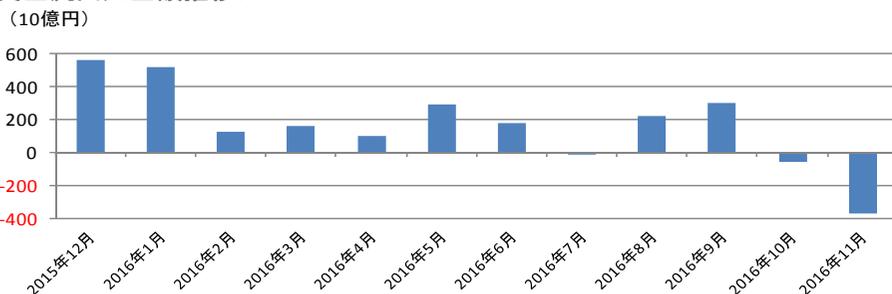
💡 利益確定売りが広がり多額の資金流出

- 11月の公販ファンドの資金流入（MAB推計）は3,670億円の流出超となった。
- 2016年は年初から円高が進行したことで多くのファンドのパフォーマンスは悪化していたが、ここにきてようやく回復をみせたことが個人投資家の利益確定売りを誘った。

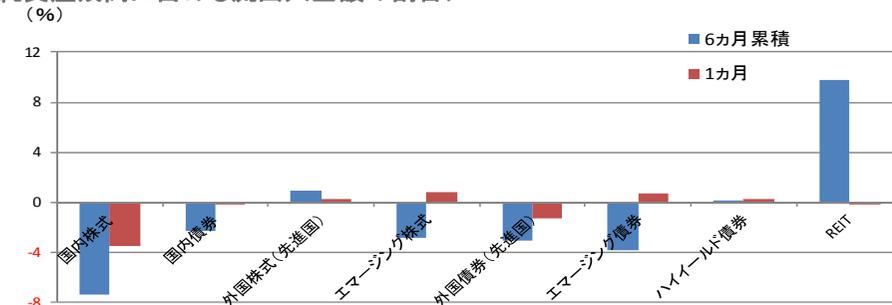
<残高構成>



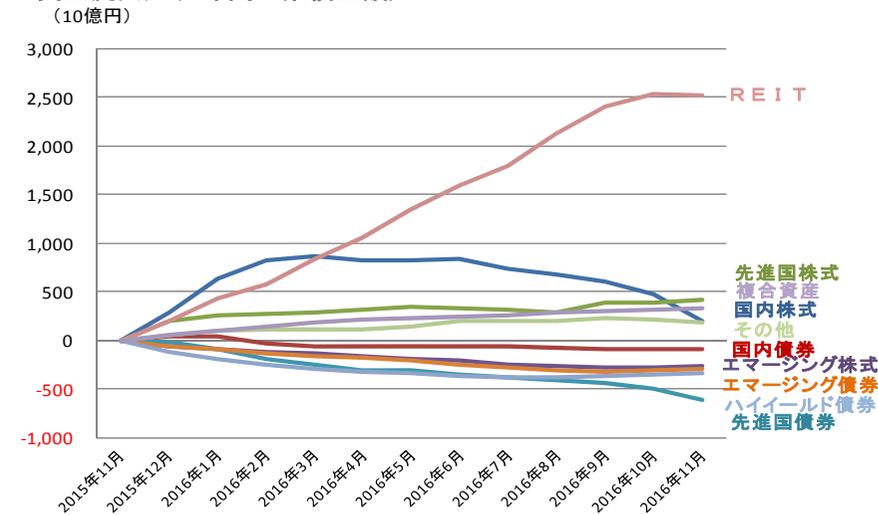
<資金流入金額推移>



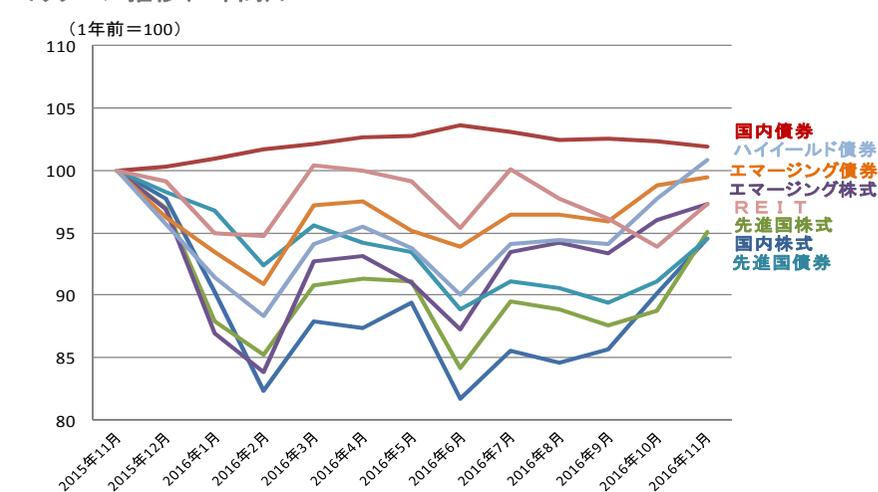
<純資産残高に占める流入金額の割合>



<資金流入(1年間の累積金額)>



<リターン推移(1年間)>



💡 国内株式からの流出幅が拡大

- 11月は国内株式のみで、2,800億円もの資金が流出した。特に純資産残高比の流出率が高かったのが、インデックス型のファンドで、株価の上昇局面をとらえた売りが多くでた。
- REITについても、運用実績の悪化により資金流入が先細る一方、一部のREITファンドで分配金の減少が報じられるなど、利回りの先行きに懸念が生じたことも資金フローにネガティブに働いた。

<各資産の資金流出入の推移> 2015年12月～2016年11月の月次、直近3ヵ月間・直近6ヵ月間・1年間

(単位:10億円)

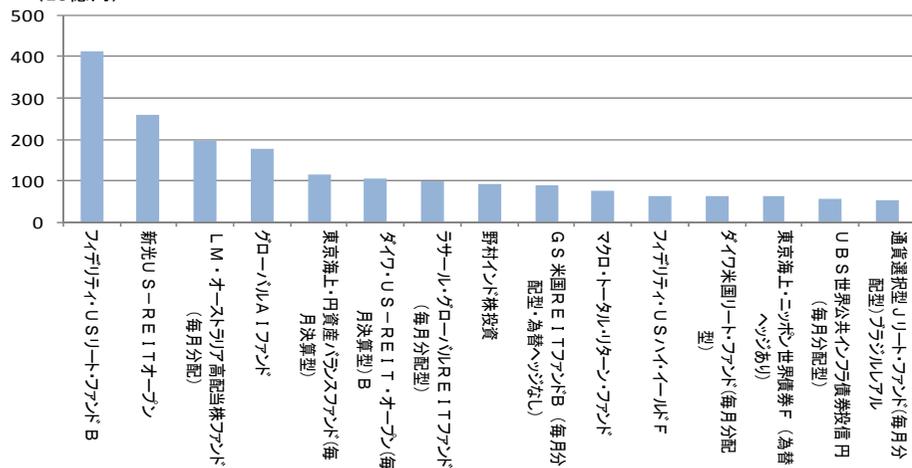
		純資産残高 2016年11月	資金流出入												直近3ヵ月	直近6ヵ月	1年
			2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	2016年11月			
国内株式	一般	5,650	207	185	111	42	-21	-11	-40	-64	-52	-55	-79	-158	-292	-448	65
	小型	461	-8	0	-1	-8	-13	-7	6	2	3	-6	-5	-3	-15	-3	-38
	インデックスその他	2,086	93	158	74	16	-19	21	46	-31	-7	-10	-52	-121	-183	-175	168
国内債券	一般	1,029	28	8	-76	-37	-6	-1	-2	-4	-10	-9	-1	-0	-10	-27	-111
先進国株式	グローバル・複合地域	4,949	204	67	24	31	38	29	-14	-21	-26	96	-1	-17	79	18	411
	米国・北米	1,695	-2	-4	1	-11	-16	-14	-31	-31	-33	-37	-30	6	-61	-156	-202
	欧州	209	-8	-6	-8	-14	-11	-11	-12	-11	-8	-10	-6	-8	-24	-54	-113
	アジア・オセアニア	592	-1	4	6	9	12	22	49	37	46	50	41	41	131	264	316
エマージング株式	グローバル・複合地域	465	-21	-11	-14	-11	-8	-8	-10	-8	-7	-7	-5	-6	-19	-43	-116
	BRICS	870	-14	-6	-6	-7	-8	-8	1	5	14	8	10	10	27	47	-2
	その他	1,124	-33	-8	-6	-5	-12	-12	-7	-30	-23	-17	-14	16	-14	-74	-149
先進国債券	グローバル・複合地域	6,326	27	-34	-51	-32	-29	14	-23	-18	-13	-18	-46	-100	-164	-218	-322
	米国・北米	1,109	-19	-23	-26	-14	-12	-4	-7	6	6	0	3	-3	0	5	-92
	欧州	71	-2	-1	-2	-1	-3	-1	-2	-2	-1	-1	-2	-1	-4	-9	-19
	アジア・オセアニア	2,017	-24	-18	-22	-14	-11	-6	-17	-15	-11	-13	-14	-21	-47	-90	-184
エマージング債券	グローバル・複合地域	1,203	-59	-30	-26	-28	-23	-34	-33	-30	-25	-21	-12	-2	-34	-121	-321
	BRICS	759	4	-2	-2	-3	-3	-1	-6	-6	-4	2	7	16	25	9	3
	その他	259	-9	-2	-2	2	4	2	3	1	5	5	8	2	14	24	19
ハイイールド債券	グローバル・複合地域	684	-16	-10	-7	-4	-1	2	-7	-1	-4	-3	1	-1	-4	-16	-52
	米国・北米	2,218	-71	-37	-23	-22	1	5	7	19	38	48	41	36	125	190	41
	欧州	626	-34	-13	-24	-21	-17	-13	-20	-22	-24	-27	-22	-19	-68	-134	-257
	アジア・オセアニア	178	-4	-3	-5	-3	-11	-7	-12	-6	-4	-2	-4	-5	-11	-34	-68
REIT	日本	3,120	33	22	-30	-18	5	32	30	56	34	18	-3	4	19	139	184
	グローバル・複合地域	2,938	26	55	44	67	47	44	30	6	40	37	-1	-30	6	82	366
	米国・北米	5,296	146	152	144	200	176	201	197	161	259	214	122	10	346	963	1,983
	欧州	64	-1	-1	-2	-2	-2	-3	-5	-4	-3	-3	-2	-2	-6	-18	-29
	アジア・オセアニア	428	-4	-0	-3	4	3	14	-7	-19	-1	21	8	2	31	4	17
複合資産	バランスファンド	5,114	59	39	39	43	28	22	10	12	26	22	9	16	47	96	326
合計(その他含む)		52,318	562	522	122	161	97	294	134	-31	212	301	-60	-366	-125	190	1,949

※ETF、SMA専用、DC専用ファンドを除いた公募投信

💡 分配金を求める資金は行き場を失う

- REITに対する資金流入の鈍化など、分配金を求める資金が行き場を失いつつあり、全体として投信市場からの資金流出が強まっている。
- REIT以外で資金流入のけん引役となっているのは、「LM・オーストラリア高配当株ファンド」や「グローバルAIファンド」等であるが、規模としてはREITファンドに見劣りする状況。

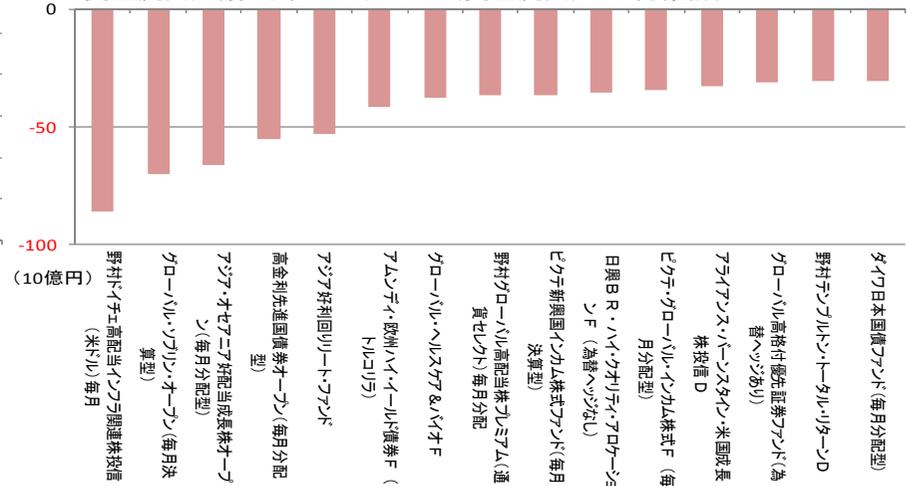
＜資金流入額 上位15ファンド＞（資金流入6ヵ月累計）
（10億円）



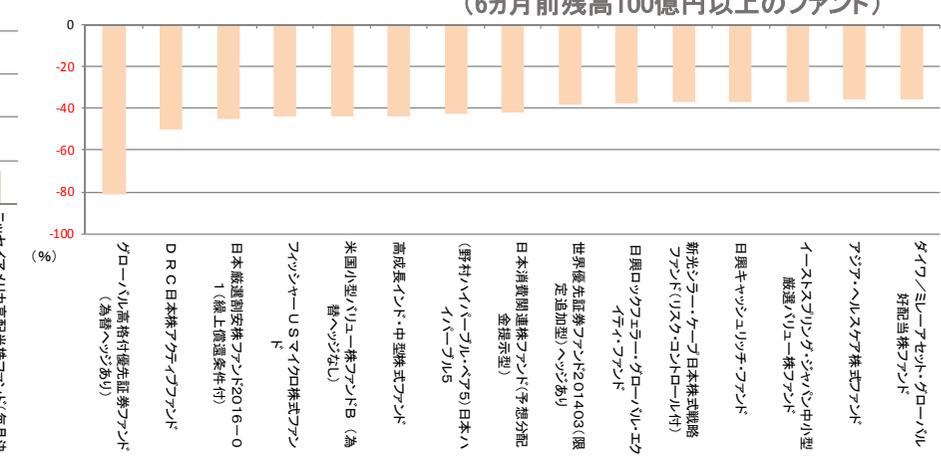
＜資金流入率 上位15ファンド＞（資金流入6ヵ月累計/純資産残高）
（6ヵ月前残高100億円以上のファンド）



＜資金流出額 下位15ファンド＞（資金流出6ヵ月累計）



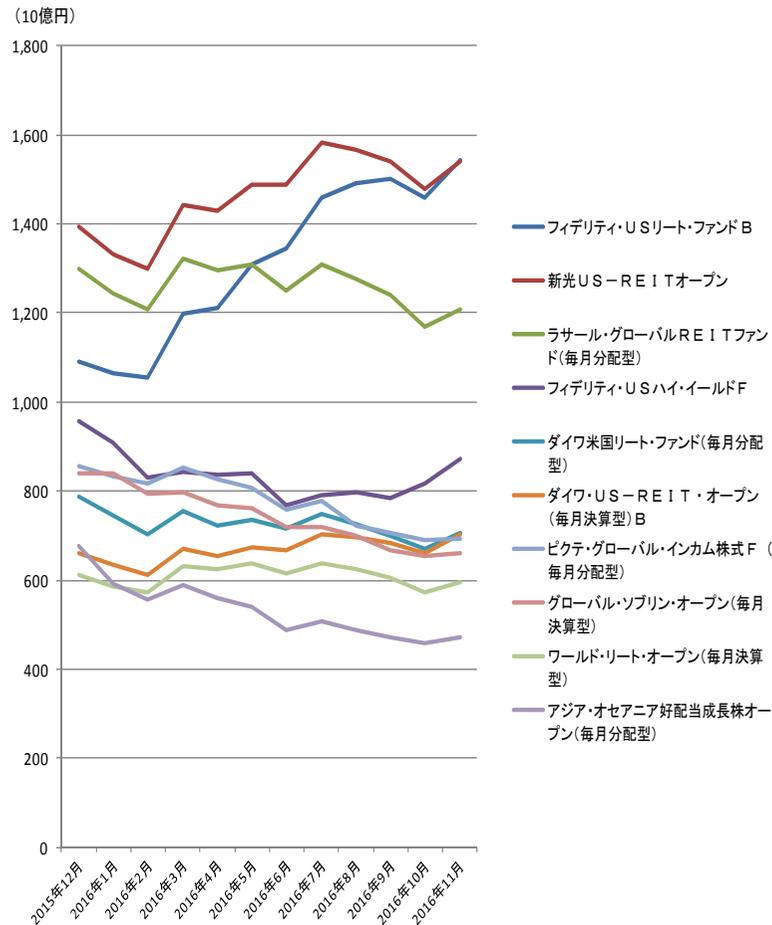
＜資金流出率 上位15ファンド＞（資金流出6ヵ月累計/純資産残高）
（6ヵ月前残高100億円以上のファンド）



💡 米中小型株ファンドを中心に大幅上昇

- REITファンドを中心に純資産残高上位ファンドの多くで、純資金流出に見舞われるも、円安の影響等の相場要因により、残高を伸ばしたファンドが多かった。
- 1か月リターンの上位ファンドでは、米国の中小型株等に集中投資をするファンドの上昇が目立った。

<純資産残高 上位10ファンド>



<リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	国内株式	5.2	29.7	13.1	122	-5	-19
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	エマージング株式	-4.0	29.5	32.6	109	-2	-8
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	エマージング株式	-6.1	26.4	27.2	95	-2	-10
資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	外国株式(先進国)	9.7	26.1	10.7	71	-1	-7
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	国内株式	7.8	24.2	1.0	936	2	89
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀	国内株式	6.6	24.2	6.4	2,154	-12	-112
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	野村	国内株式	5.4	23.9	5.7	141	-10	-18
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	国内株式	5.2	23.5	5.4	1,200	-24	-62
日本株ハイインカム(毎月分配型)ブラジルレアル	アストマックス	国内株式	2.0	23.2	8.8	273	2	48
HSBCブラジルオープン	HSBC	エマージング株式	-7.2	23.2	26.1	357	0	-28
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	外国株式(先進国)	3.6	22.6	25.1	671	14	83
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	外国株式(先進国)	3.6	22.6	25.0	316	-5	-61
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	野村	国内株式	8.7	21.9	-3.9	62	-3	-10
ダイワ米国株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	外国株式(先進国)	6.1	20.9	17.0	1,082	-37	-257
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	国内株式	5.5	20.9	15.9	105	3	7

<リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

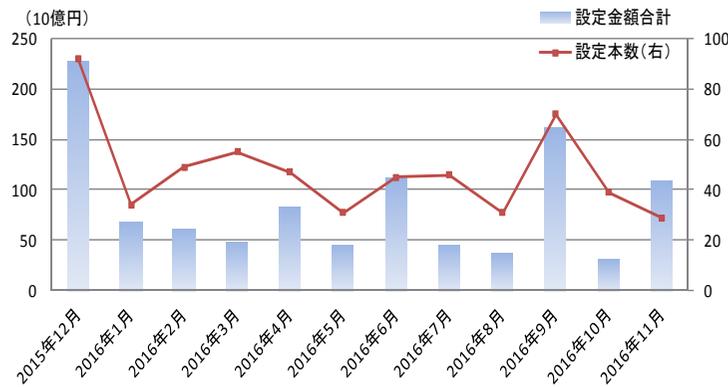
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィッシャーUSマイクロ株式ファンド	AM-One	外国株式(先進国)	21.7	15.9	2.8	188	-38	-127
楽天日本株4.3倍フル	楽天	その他	16.6	6.2	-56.8	126	-15	-22
米国小型ハイクオリティF(毎月決算型)	三井住友	外国株式(先進国)	16.4	12.2	-0.6	64	-4	-35
SBI日本株3.7倍フル	SBI	その他	16.0	11.3	-46.3	146	-8	-25
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド(米ドル)	大和	外国株式(先進国)	16.0	15.3	-0.3	66	-1	-14
明治安田米国中小型成長株株式ファンド	明治安田	外国株式(先進国)	15.6	8.6	-8.1	67	-0	-9
米国小型バリュー株ファンドB(為替ヘッジなし)	AM-One	外国株式(先進国)	15.5	15.9	5.5	348	-42	-234
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン B	野村	外国株式(先進国)	15.3	-0.0	-28.0	147	32	58
DIAMジャナス米国中小型株式ファンド	AM-One	外国株式(先進国)	15.1	8.6	-2.5	131	-6	-35
ジャナス米国中小型成長株ファンド(年4回決算型)	AM-One	外国株式(先進国)	15.0	8.5	-2.9	129	-15	-16
ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジなし)	大和	外国株式(先進国)	14.9	8.5	-6.7	88	-5	-18
日本株厳選ファンド・米ドルコース	大和住銀	国内株式	14.9	12.8	-15.0	553	-25	9
ピクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)ヘッジなし	ピクテ	外国株式(先進国)	14.6	0.7	-20.7	16	19	21
アメリカン・ドリーム・ファンド	新生	外国株式(先進国)	14.5	10.9	-7.7	75	-1	-12
ダイワ金融新時代ファンド	大和	国内株式	14.3	16.9	-10.7	161	-3	-9

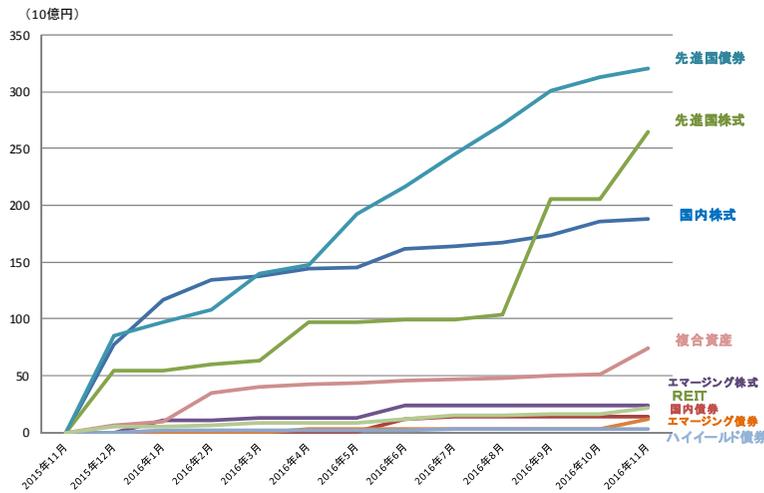
💡 設定本数が減少するも、設定金額は増加

- 11月の設定本数は30本を下回る低水準となったが、一部ファンドが多額の資金を集めたことで、設定金額は前月より増加した。
- 「米国バリュー・ストラテジー・ファンド A/B」(野村)が11月は最も資金を集めた。直近6か月の新規設定額上位ファンドをみると、外国株式ファンドの割合が高くなっており、米国を中心に株式市場が上向いてきたことで、注目が集まっている。

＜新規設定金額、設定本数の推移＞



＜新規設定(1年間の累積金額)＞



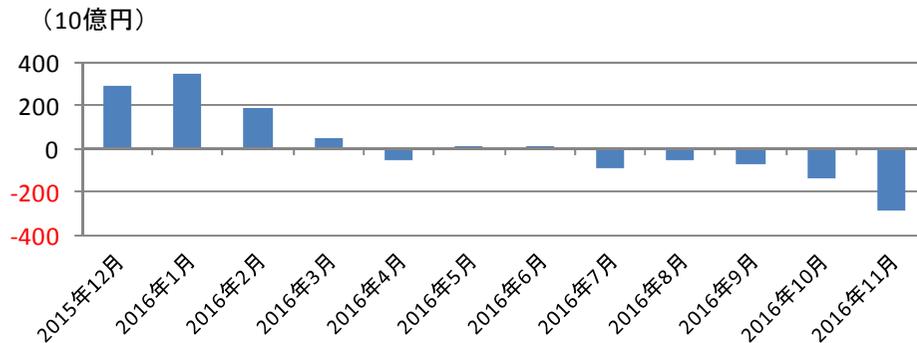
＜直近6か月 新規設定上位30ファンド一覧＞

ファンド名	運用会社	11月末現在 純資産額 (億円)	ファンド分類	設定年月	単字型/ 追加型
グローバルAIファンド	三井住友	1,972	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
マクロ・トータル・リターン・ファンド	三菱UFJ国際	712	その他	2016年6月	追加型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり)	大和	413	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジなし)	大和	332	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	290	国内株式	2016年6月	追加型
米国バリュー・ストラテジー・ファンド A	野村	266	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
グローバル・ハイクオリティ成長株F(為替ヘッジなし)	AM-One	259	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
米国バリュー・ストラテジー・ファンド B	野村	221	外国株式(先進国)	2016年11月	追加型
世界好利回りCB2016-09為替ヘッジあり・限定追加型	三菱UFJ国際	212	その他	2016年9月	追加型
先進国債券・茨城栃木関連株式バランスファンド	野村	204	複合資産	2016年11月	単字型
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	158	国内株式	2016年10月	追加型
インベスコジャパン成長株・夢ファンド	インベスコ	149	国内株式	2016年6月	追加型
先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08	野村	111	外国債券(先進国)	2016年8月	単字型
りそな・ストラテジック・インカムF16-09ヘッジあり	三井住友	110	外国債券(先進国)	2016年9月	単字型
GSフォーカス・イールド・ボンド(毎月決算)	G S	105	外国債券(先進国)	2016年6月	追加型
コーポレート・ハイブリッド証券F2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型)	大和	100	外国債券(先進国)	2016年8月	追加型
パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券F2016-06ヘッジあり	パインブリッジ	98	外国債券(先進国)	2016年6月	単字型
SBI-PIMCOジャパン・ベターインカム・ファンド	SBIボンド	97	国内債券	2016年6月	追加型
シュローダー・アジアバシフィック・エクセレント・カンパニーズ	シュローダー	94	エマージング株式	2016年6月	追加型
グローバルCBファンド(線上償還条項付/下値目安設定型)	JPモルガン	91	その他	2016年10月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-06	大和	90	外国債券(先進国)	2016年6月	単字型
新興国通貨建て世界銀行債券オープン	三菱UFJ国際	85	エマージング債券	2016年11月	追加型
GSフォーカス・イールド・ボンド(年2回決算)	G S	73	外国債券(先進国)	2016年6月	追加型
ロボット戦略世界分散ファンド	T&Dアセット	72	その他	2016年9月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-08	大和	72	外国債券(先進国)	2016年8月	単字型
グローバル・ハイクオリティ成長株F(限定為替ヘッジ)	AM-One	66	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
BNYメロン・G好利回りCB2016-07(円ヘッジ)(限定追加型)	BNYメロン	66	その他	2016年7月	追加型
みずほハイブリッド証券F2016-10(ヘッジあり)	大和	64	外国債券(先進国)	2016年10月	追加型
YMアセット・バランスファンド(安定タイプ)	ワイエムAM	64	複合資産	2016年6月	追加型
国際金融機関債F(為替ヘッジあり)プラス2016-07	三菱UFJ国際	61	外国債券(先進国)	2016年7月	単字型

💡 株価が大きく上昇する中、戻り売りの動きが強まり資金流出

- 11月の国内株式市場は米国次期大統領となったドナルド・トランプ氏による経済刺激策への期待から大きく上昇した一方で、株価上昇局面における戻り売りの動きが強まった。
- 1か月リターンはドル高が進行したことにより、米ドルヘッジの通貨選択型ファンドが上位を占めた。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	49	156	156	158	1.0	-
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	48	270	270	290	1.4	-
YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	13	13	13	14	-	-
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド	スパークス	13	27	4	126	3.5	13.6
JPX日経400プラスにいがた・アクティブ	岡 三	13	29	18	64	4.9	-1.8
国際・キャピタル日本株式オープン<ロシアルーブル>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	12	21	21	29	9.3	16.4
インベスコジャパン 成長株・夢ファンド	インベスコ	12	151	151	149	0.8	-
中小型株式オープン	三井住友トラスト	8	39	59	184	-0.4	-9.2
DIAM国内株式バッシュ・ファンド	AM-One	4	6	12	41	5.5	7.3
ニッポン中小型株ファンド	大和住銀	4	4	4	20	5.2	14.7
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)ブラジルリアル	AM-One	4	40	74	94	4.7	10.9
日本株アルファ・カルテット(年2回決算型)	大和住銀	3	4	5	6	7.3	24.8
セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン	3	30	76	367	7.1	5.4
J-Stockアクティブ・オープン	大和住銀	3	5	5	9	1.1	7.3
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	3	7	10	105	5.5	20.9

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	大 和	5.2	29.7	13.1	122	-5	-19
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	大和住銀	7.8	24.2	1.0	936	2	89
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀	6.6	24.2	6.4	2,154	-12	-112
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)年2回決算型	野 村	5.4	23.9	5.7	141	-10	-18
野村日本ブランド株投資(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野 村	5.2	23.5	5.4	1,200	-24	-62
日本株ハイインカム(毎月分配/ブラジルリアル)	アストマックス	2.0	23.2	8.8	273	2	48
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	野 村	8.7	21.9	-3.9	62	-3	-10
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	5.5	20.9	15.9	105	3	7
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	大和住銀	13.1	17.0	-11.1	132	-6	-2
ダイワ金融新時代ファンド	大 和	14.3	16.9	-10.7	161	-3	-9
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)毎月分配型	野 村	10.1	15.8	-10.6	345	-15	-35
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース)年2回決算型	野 村	10.1	15.7	-10.9	100	-8	-14
ダイワ日本株ストラテジーα<米ドル>(毎月分配型)	大 和	10.7	15.4	-7.6	94	-5	-17
トヨタグループ 株式ファンド	三井住友	9.0	14.3	-9.9	887	-25	2
UBS地方銀行株ファンド	UBS	7.2	14.3	-20.8	53	-2	-7

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

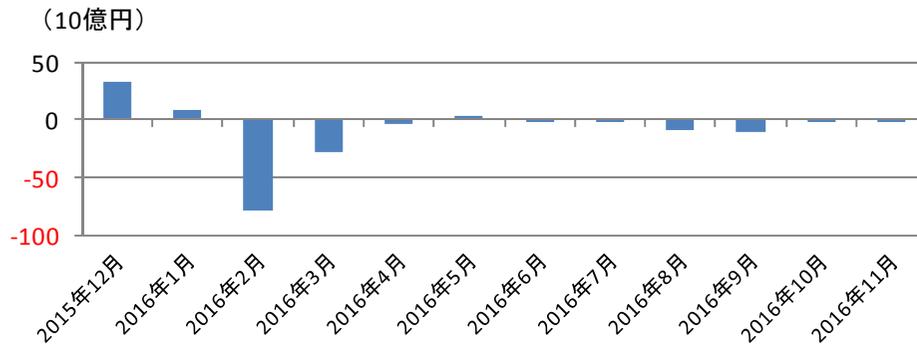
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日本株厳選ファンド・米ドルコース	大和住銀	14.9	12.8	-15.0	553	-25	9
ダイワ金融新時代ファンド	大 和	14.3	16.9	-10.7	161	-3	-9
利回り株チャンス米ドル型(年4回決算型)	大 和	13.4	4.4	-14.9	69	-2	-9
GS日本株・プラス(米ドルコース)	G S	13.2	7.1	-13.5	53	-3	-20
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	大和住銀	13.1	17.0	-11.1	132	-6	-2
T&D JPX日経400投資(通貨選択型)米ドル	T&Dアセット	12.7	7.3	-15.4	122	-7	-16
GS日本株・プラス(通貨分散コース)	G S	12.4	4.7	-14.2	53	-1	-2
野村日本企業価値向上オープン(米ドル投資型)	野 村	12.3	4.5	-16.6	1,175	-29	-124
T&D日本株式投資(通貨選択型)米ドルコース	T&Dアセット	12.2	7.5	-15.4	62	-7	-12
野村通貨選択日本株投資(米ドル)毎月分配型	野 村	11.8	11.3	-15.7	238	-13	-63
野村通貨選択日本株投資(米ドル)年2回決算型	野 村	11.7	11.3	-15.6	538	-41	-148
日本株225(米ドル)	大和住銀	11.5	11.5	-15.2	176	-11	-14
日本優良成長株オープン(米ドル投資型)	岡 三	11.4	3.6	-8.5	108	2	18
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	野 村	11.0	11.2	-14.7	618	-26	-63
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	野 村	11.0	11.2	-14.7	532	-17	-47

💡 小幅ながらもパフォーマンスは悪化傾向

- 米長期金利と国内株式の上昇を受け、日本の長期金利はプラス圏に浮上し債券価格が下落。パフォーマンスがマイナスとなったファンドが目立った。
- 一方、日銀が長短金利操作の金融政策を行っていることで、下落幅は海外に比較して限定的なものにとどまっている。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワ日本国債15-20年ラダー型	大和	34	53	88	87	-1.1	-2.5
日本超長期国債ファンド	三井住友	18	20	27	42	-1.0	-2.1
国内債券通貨プラス(秀債くん)	三菱UFJ国際	11	18	25	35	-1.1	0.7
ダイワ住宅金融支援機構債ファンド-Mr.フラット	大和	5	45	62	62	-0.5	-0.9
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	4	16	34	108	-0.6	-1.3
SMT国内債券インデックス・オープン	三井住友トラスト	4	5	13	114	-0.7	-1.6
ニッセイ国内債券インデックスF<購入・換金手数料なし>	ニッセイ	4	7	27	46	-0.7	-1.6
しんきん公共債ファンド	しんきん	3	21	13	107	-0.4	-0.5
Sストリート日本債券インデックス	Sストリート	3	10	11	10	-0.7	-1.7
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	3	19	25	117	0.5	0.3
明治安田・日本債券ファンド	明治安田	1	4	10	35	-0.7	-1.8
インデックスコレクション(国内債券)	三井住友トラスト	1	14	85	178	-0.7	-1.5
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	1	41	92	534	-0.7	-1.5
DIAM国内債券ハッシュ・ファンド	AM-One	1	6	1	136	-0.7	-1.7
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	1	13	14	71	-0.7	-1.6

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.2	1.7	3.4	76	0	0
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	0.1	0.4	-2.0	154	-5	-35
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	0.1	0.4	-2.0	433	-9	-68
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	0.5	0.3	1.2	117	3	19
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	-0.2	-0.2	0.9	874	-8	-77
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	-0.2	-0.2	0.8	131	-3	-24
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	-0.2	-0.3	0.2	192	-5	-25
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.4	-0.5	1.4	107	3	21
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	-0.1	-0.8	0.3	291	-4	32
ジャパン・ソフリン・オープン	三菱UFJ国際	-0.5	-0.8	0.7	372	-11	-90
バインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	バインブリッジ	-0.5	-1.0	2.0	150	1	-1
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.6	-1.1	2.0	3,708	-26	-305
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.6	-1.1	2.0	112	-0	3
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	-0.7	-1.3	4.6	153	-5	15
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	-0.6	-1.3	5.5	108	4	16

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

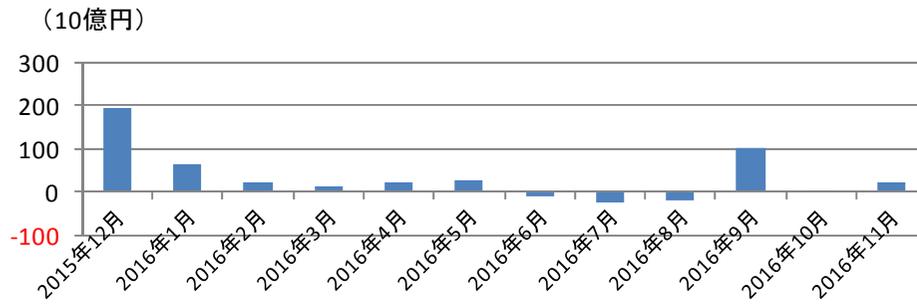
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	0.5	0.3	1.2	117	3	19
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.2	1.7	3.4	76	0	0
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	0.1	0.4	-2.0	154	-5	-35
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	0.1	0.4	-2.0	433	-9	-68
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	-0.1	-0.8	0.3	291	-4	32
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	-0.2	-0.2	0.9	874	-8	-77
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	-0.2	-0.2	0.8	131	-3	-24
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	-0.2	-0.3	0.2	192	-5	-25
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.4	-0.5	1.4	107	3	21
ジャパン・ソフリン・オープン	三菱UFJ国際	-0.5	-0.8	0.7	372	-11	-90
バインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	バインブリッジ	-0.5	-1.0	2.0	150	1	-1
DLIBJ・公社債オープン(中期コース)	AM-One	-0.6	-1.7	3.9	519	-3	-8
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.6	-1.1	2.0	112	-0	3
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.6	-1.1	2.0	3,708	-26	-305
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	-0.6	-1.3	5.5	108	4	16

豪州高配当株が資金流入を牽引

- 豪州高配当株式への資金流入が継続しており、「LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月配分)」への流入額は1年間で2,000億円超となった。
- 1ヵ月リターンでは小型株の伸びが目立った。米国の時価総額の特に小さな銘柄を投資対象とする「フィッシャーUSマイクロ株式ファンド」は、20%を超えるパフォーマンスとなった。

＜資金流出入金額推移＞



＜資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月配分)	L M	326	1,964	2,304	2,504	8.7	6.0
米国バリュー・ストラテジー・ファンド A	野村	264	264	264	266	-	-
米国バリュー・ストラテジー・ファンド B	野村	214	214	214	221	-	-
グローバルAIファンド	三井住友	180	1,790	1,790	1,972	9.5	-
グローバル・ハイクオリティ成長株F(為替ヘッジなし)	AM-One	90	248	248	259	3.5	-
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり)	大和	76	416	416	413	0.3	-
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジなし)	大和	54	313	313	332	7.4	-
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	ニッセイ	48	48	48	48	-	-
ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	ニッセイ	48	48	48	48	-	-
ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	ニッセイ	45	265	568	648	9.6	9.3
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン A	野村	42	102	101	119	8.5	-0.7
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン B	野村	32	58	59	147	15.3	-0.0
グローバル・ハイクオリティ成長株F(限定為替ヘッジ)	AM-One	28	67	67	66	-2.7	-
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	26	122	165	321	8.3	5.7
LM・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算)	L M	21	140	146	165	8.7	6.0

＜リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	9.7	26.1	10.7	71	-1	-7
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	3.6	22.6	25.1	671	14	83
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	3.6	22.6	25.0	316	-5	-61
ダイワ米国株ストラテジー α<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	6.1	20.9	17.0	1,082	-37	-257
ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株 α(毎月分配)(ブラジル・レアル)	大和	2.5	20.4	13.6	69	-3	-25
3つの財布米国銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	12.9	16.4	2.2	83	1	4
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	7.6	16.4	3.3	193	-2	-18
フィッシャーUSマイクロ株式ファンド	AM-One	21.7	15.9	2.8	188	-38	-127
米国小型バリュー株ファンドB(為替ヘッジなし)	AM-One	15.5	15.9	5.5	348	-42	-234
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド(米ドル)	大和	16.0	15.3	-0.3	66	-1	-14
米国小型株ツイン α(毎月分配型)	大和住銀	13.0	14.4	0.2	91	-2	-5
ダイワ/ミレー・Gグレートコンシューマー株式FII(BRレアル)(毎月分配)	大和	0.8	14.4	5.0	41	-1	-16
資源株ファンド<オーストラリアドル>(毎月分配型)	日興	8.3	14.2	7.5	62	-1	4
野村クラウド&スマートグリッド関連株投資B	野村	9.6	14.2	-4.7	61	-4	-9
北米エネルギーファンド(毎月決算型)	三井住友	7.2	13.8	1.2	50	1	-5

＜リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

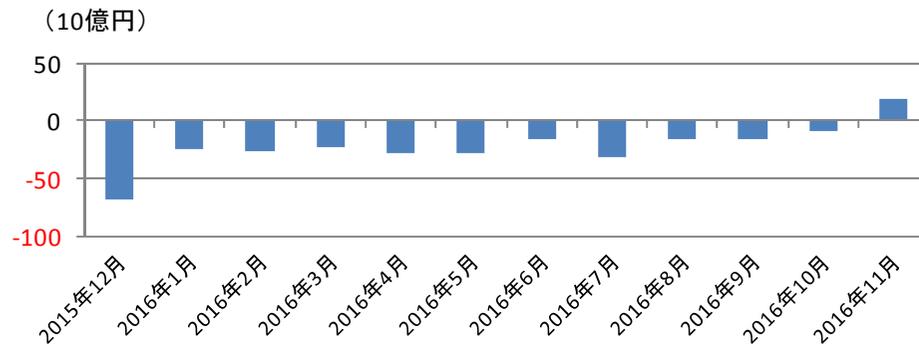
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィッシャーUSマイクロ株式ファンド	AM-One	21.7	15.9	2.8	188	-38	-127
米国小型ハイクオリティF(毎月決算型)	三井住友	16.4	12.2	-0.6	64	-4	-35
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド(米ドル)	大和	16.0	15.3	-0.3	66	-1	-14
明治安田米国中小型成長株ファンド	明治安田	15.6	8.6	-8.1	67	-0	-9
米国小型バリュー株ファンドB(為替ヘッジなし)	AM-One	15.5	15.9	5.5	348	-42	-234
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン B	野村	15.3	-0.0	-28.0	147	32	58
DIAMジャナス米国中小型株式ファンド	AM-One	15.1	8.6	-2.5	131	-6	-35
ジャナス米国中小型成長株ファンド(年4回決算型)	AM-One	15.0	8.5	-2.9	129	-15	-16
ダイワ米国ハイバックファンド(為替ヘッジなし)	大和	14.9	8.5	-6.7	88	-5	-18
ビクテ・バイオ医薬品F(毎月決算型)ヘッジなし	ビクテ	14.6	0.7	-20.7	161	19	21
アメリカン・ドリウム・ファンド	新生	14.5	10.9	-7.7	75	-1	-12
アメリカン・ニュー・ステージ・オープン	三菱UFJ国際	14.2	11.4	-7.7	174	-13	-24
ダイワ米国株主還元株ファンド	大和	13.7	9.8	-3.7	407	-35	-55
SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	三井住友トラスト	13.2	9.4	0.1	187	-10	-12
ブラックロック・USベネフィット・バリュー	ブラックロック	13.2	8.2	0.3	127	6	2

💡 1年5か月ぶりの資金流入

- 11月はトランプ・ショックで新興国市場から資金流出が囁かれる中、日本のエマージング株式投信の資金流入は2015年6月以来1年5か月ぶりに流入超となった。「ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド」、「野村インド株投資」が単月で100億円を超える資金流入となったことが主因。
- 1か月リターンは、米国の保護主義化が新興国経済を悪化させるとの思惑で、中南米、東南アジアを中心に下落。一方、中国A株、ロシア株式のファンドは上昇率上位となった。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1か月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド	大和	281	283	555	571	1.5	-0.7
野村インド株投資	野村	117	933	919	1,753	-3.9	-1.0
中華圏株式ファンド(毎月分配型)	日興	39	118	174	188	6.7	10.3
(ノムラ・アジア)ノムラ・印度・フォークス	野村	11	51	38	149	-3.1	4.9
HSBCインドオープン	HSBC	9	6	13	544	-2.5	4.7
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	5	-18	-17	108	-7.3	13.7
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリ	5	0	-36	150	-6.2	3.6
ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	5	25	21	166	-4.4	1.4
(ノムラ・アジア)ノムラ・インドネシア・フォークス	野村	4	23	28	51	-5.0	4.9
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	イーストスプリ	4	35	39	85	-3.8	3.8
シュローダー・エマージング株式ファンド(1年決算型)	シュローダー	2	0	-2	45	1.8	8.8
JPM・BRICS5・ファンド	JPモルガン	2	-3	-13	274	3.4	11.0
UBSブラジル・インデックス・ファンド	UBS	2	3	1	17	-4.2	30.8
ダイワ・インド株式オープン	大和	2	4	3	42	-3.7	1.1
ドイチェ・ロシア東欧株式ファンド	ドイチェ	2	16	18	82	5.3	8.8

<リターン(6か月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	-4.0	28.5	32.6	109	-2	-8
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	-6.1	26.4	27.2	95	-2	-10
HSBCブラジルオープン	HSBC	-7.2	23.2	26.1	357	0	-28
HSBC BRICSオープン	HSBC	1.9	18.3	9.9	94	-2	-5
HSBC新BRICSファンド	HSBC	2.0	18.2	9.4	66	-1	-3
HSBCロシアオープン	HSBC	9.1	17.3	12.3	76	-3	-6
UBS中国株式ファンド	UBS	8.5	16.2	2.3	121	-1	-8
チャイナ騰飛(チャイナ・エクイティ・オープン)	大和住銀	6.9	14.1	-8.2	74	-3	-4
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	-7.3	13.7	17.4	108	5	-18
HSBC中国株式ファンド(3ヶ月決算型)	HSBC	5.6	13.2	-9.6	71	-1	-2
HSBCチャイナオープン	HSBC	5.6	13.2	-9.5	111	-1	-3
DWS世界新興国株式ファンド	ドイチェ	3.1	13.1	1.9	55	-0	-2
CAMベトナムファンド	CAM	2.5	12.9	8.6	64	-1	-5
野村新中国株投資	野村	5.9	11.8	38.6	48	-1	-8
シュローダー・BRICS株式ファンド	シュローダー	1.2	11.8	-1.4	127	-0	-2

<リターン(1か月) 上位15ファンド一覧>

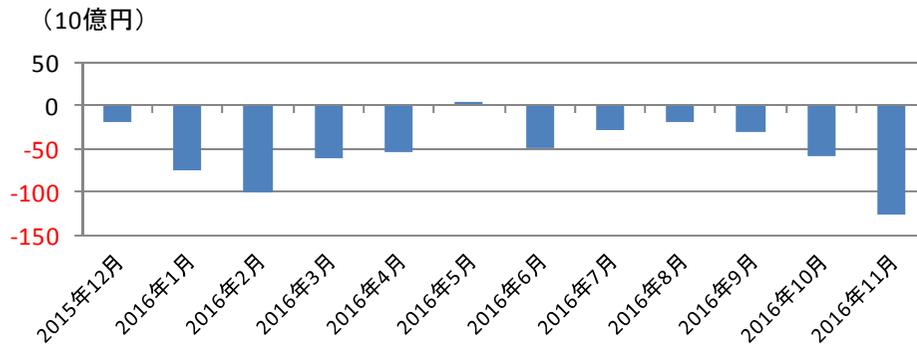
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村新中国A株投資	野村	9.1	9.4	-16.1	48	-1	-10
HSBCロシアオープン	HSBC	9.1	17.3	12.3	76	-3	-6
UBS中国株式ファンド	UBS	8.5	16.2	2.3	121	-1	-8
チャイナ・ニューノーマル・ストラテジー	明治安田	7.6	10.8	-12.2	31	-2	-27
チャイナ騰飛(チャイナ・エクイティ・オープン)	大和住銀	6.9	14.1	-8.2	74	-3	-4
中華圏株式ファンド(毎月分配型)	日興	6.7	10.3	-13.5	188	39	118
三菱UFJ・チャイナオープン	三菱UFJ国際	6.6	11.3	-7.2	78	-1	-3
ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド	大和	6.2	7.3	4.9	85	-4	-19
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式(毎月分配型)	イーストスプリ	5.9	10.2	-1.6	66	-1	-5
野村新中国株投資	野村	5.9	11.8	38.6	48	-1	-8
JPMアジア・オセアニア高配当株式ファンド	JPモルガン	5.9	5.0	-4.3	113	-2	-14
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	岡三	5.7	9.6	-1.1	4,725	-65	-661
HSBCチャイナオープン	HSBC	5.6	13.2	-9.5	111	-1	-3
HSBC中国株式ファンド(3ヶ月決算型)	HSBC	5.6	13.2	-9.6	71	-1	-2
三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	三井住友	5.6	10.5	-10.3	169	-1	3

💡 円安の進行から利益確定売りに押される

- 11月は円安が進行し、為替ヘッジなしのファンドのリターンが改善したが、資金フローでは投資家の売りが強まり、資金流出幅が拡大した。
- 1ヵ月リターンでは、バンクローンファンドの上昇が目立った。バンクローンは、銀行が企業等に貸し出すローンを商品化したもので、変動金利商品のため、金利上昇局面に強い性格を有している。

＜資金流出入金額推移＞



＜資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
UBS世界公共インフラ債券投信F(毎月分配型)	UBS	71	581	714	2,645	-2.6	-1.0
東京海上・ニッポン世界債券F(為替ヘッジあり)	東京海上	51	633	708	1,513	-3.1	-2.7
米国地方債ファンド為替ヘッジあり(年2回決算型)	三井住友トラスト	45	68	68	67	-2.0	-1.9
三菱UFJ米国債券オープン(毎月分配型)	三菱UFJ国際	41	38	9	114	4.8	-0.6
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドA	野村	37	200	221	222	-0.7	1.7
Gコーポレート・ハイブリッド証券(ヘッジあり)16-11(限定追加型)	野村	35	35	35	35	-	-
GSフォーカス・スイールド・ボンド(毎月決算)	G S	32	106	106	105	-2.0	-
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドC	野村	25	149	162	162	-0.7	1.7
コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジなし)	三井住友	22	203	275	330	4.2	-0.7
DWSグローバル公益債券ファンドA(毎月分配型)	ドイチエ	18	15	-109	1,061	-2.4	0.4
コーポレート・ハイブリッド証券F(為替ヘッジあり)2016-11	大和	17	17	17	17	-	-
ダイワ・グローバル金融機関債券F(為替ヘッジあり)16-11	大和	15	15	15	15	-	-
UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型)	UBS	14	155	149	1,002	4.1	4.1
三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	13	80	130	2,088	4.3	4.3
米国地方債ファンド為替ヘッジあり(毎月決算型)	三井住友トラスト	13	70	75	73	-2.0	-1.6

＜リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ米国バンクローンF<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	0.6	16.9	16.7	68	3	3
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券F<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	東京海上	-1.5	14.9	14.3	86	-0	-6
新光・ハイブリッド証券ファンド(ブラジルレアル)	AM-One	-1.3	14.6	14.0	135	-3	-14
UBS世界公共インフラ債券投信F(毎月分配型)	UBS	-2.6	12.6	14.8	202	-2	-8
ダイワ豪ドル建て高利回り証券F(予想分配提示型)	大和	5.8	9.9	-0.6	111	-5	-18
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α(毎月分配型)	大和	3.7	8.1	-0.8	123	-4	-24
LM・ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	L M	5.9	7.1	3.2	87	-1	-6
野村グローバルボンド投信F	野村	0.8	7.0	-2.5	108	-3	-12
ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型)	日興	5.9	7.0	3.6	118	-2	-15
LM・ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型)	L M	5.9	7.0	3.1	59	-1	-5
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	野村	1.2	6.6	0.3	56	-1	-4
DIAM高格付外債ファンド	AM-One	2.9	6.3	2.8	135	-2	-12
短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	大和住銀	5.7	6.1	-2.8	3,314	-98	-210
三菱・AMPオーストラリア・ハイインカム債券F(毎月決算型)	三菱UFJ国際	5.0	6.0	-1.4	62	-1	1
UBS世界公共インフラ債券投信 豪ドル(毎月分配型)	UBS	2.4	6.0	-1.0	318	1	-1

＜リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧＞

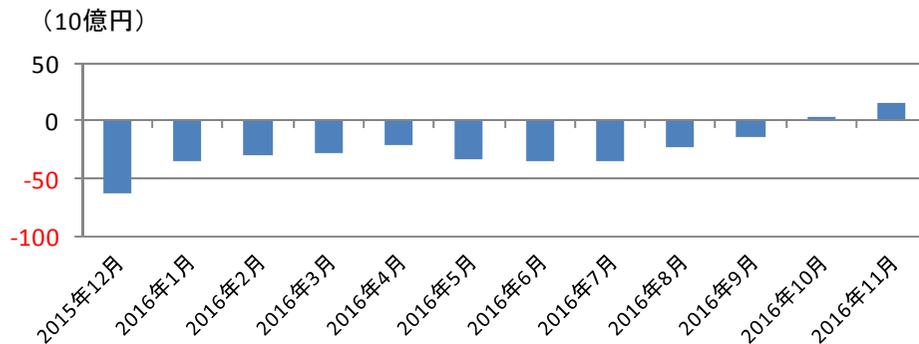
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
アムンディ・英国債ファンド(毎月決算型)	アムンディ	9.7	-11.6	-21.9	33	-1	-11
バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	7.2	5.2	-3.8	246	-6	-33
バンクローン・ファンド(ヘッジなし)	AM-One	7.2	4.7	-2.5	95	-2	-6
ドルマネーファンド	AM-One	7.1	1.0	-9.0	66	-7	3
LM・米ドル毎月分配型ファンド	L M	7.1	2.8	-6.8	87	-3	-19
マニュアル・変動高金利戦略ファンドB(ヘッジなし・毎月)	マニュアル	7.1	3.5	-4.3	75	-1	-2
三菱UFJ米国バンクローンF<米ドル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	7.1	4.9	-3.9	142	-3	-20
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	7.1	4.8	-3.9	127	-2	-23
ビムコUSハイインカム・ローンF(毎月分配)ヘッジなし	日興	7.0	4.8	-3.8	117	-4	-12
GS債券戦略ファンドD(年2回決算型、為替ヘッジなし)	G S	6.9	2.5	-8.8	54	-1	-12
GS債券戦略ファンドB(毎月決算型、為替ヘッジなし)	G S	6.9	2.4	-8.8	359	-13	-65
テンブルトン世界債券ファンド(為替ヘッジなし)	フランクリン	6.7	2.7	-12.0	68	-2	-6
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	三菱UFJ国際	6.7	5.2	-4.4	130	-4	-14
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	6.7	5.2	-4.4	438	-9	-52
USバンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	野村	6.7	5.2	-4.4	63	-1	-9

💡 新興国通貨は対ドルで下落も、対円では限定的

- 2か月連続の資金流入超。新規設定の「新興国通貨建て世界銀行債券オープン」が約83億円を集めた。
- 新興国通貨は、先進国の長期金利が上昇したため、総じて対ドルで下落。ただし、日本円も対ドルで大きく下落したため、対円での新興国通貨の下落は限定的だった。1か月リターンでは、インド・ルピア債、人民元債、ロシア・ルーブル債が上昇上位、メキシコ・ペソ債、トルコ・リラ債が下落。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1か月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
新興国通貨建て世界銀行債券オープン	三菱UFJ国際	83	83	83	85	-	-
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村	48	208	365	910	5.2	5.6
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	38	189	221	389	1.5	12.6
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(毎月決算型)	イーストスプリ	36	94	90	330	7.1	8.1
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン B	三菱UFJ国際	21	82	70	236	-4.4	0.8
アジア社債ファンドA(為替ヘッジあり)	日興	21	173	188	202	-1.6	0.2
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	14	33	28	337	-3.4	16.4
メキシコ債券オープン(毎月分配型)	大和住銀	13	64	37	319	-6.2	-12.7
UBSブラジル・リアル債券投信(年2回決算型)	UBS	11	55	71	157	1.5	12.7
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	10	35	38	125	7.1	8.0
新光ブラジル債券ファンド	AM-One	10	-12	-2	564	1.6	12.4
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	9	-80	-186	529	-3.0	16.6
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	8	-43	-118	608	-3.3	15.6
DWSロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)	ドイチェ	8	2	-6	79	4.1	8.2
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	8	-13	-29	357	0.7	14.5

<リターン(6か月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨)毎月	野村	2.9	20.1	13.1	86	-1	-8
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルリアル)	日興	-2.6	19.1	19.2	95	-3	-19
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	-3.2	16.9	18.2	824	5	-33
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	-3.0	16.6	19.3	529	9	-80
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	-3.4	16.4	17.0	337	14	33
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイチェ	-0.9	15.7	22.9	120	-1	-19
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	-3.3	15.6	16.8	608	8	-43
新興国公社債オープン ブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	-2.0	14.9	20.5	56	-0	-8
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	-3.3	14.5	19.2	165	-1	-13
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	0.7	14.5	29.0	357	8	-13
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	0.6	14.1	20.5	535	-1	-42
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	0.7	13.8	25.5	98	3	-0
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	AM-One	-4.2	13.8	15.7	244	-2	-34
ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)	大和	0.5	13.0	21.5	540	-3	-52
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	0.5	13.0	21.5	1,329	-7	-254

<リターン(1か月) 上位15ファンド一覧>

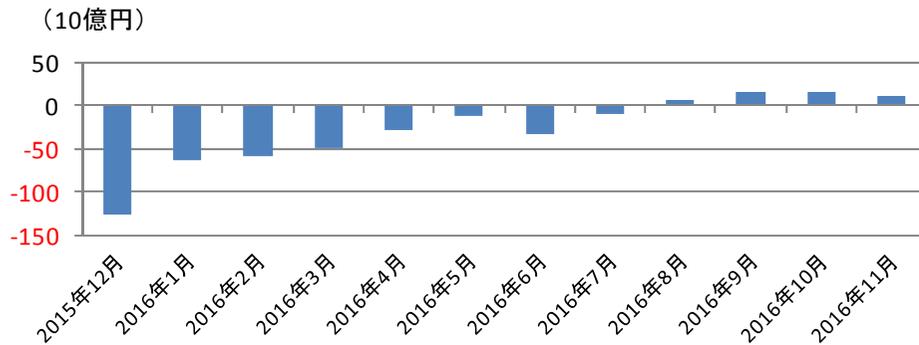
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	7.1	8.0	0.4	125	10	35
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(毎月決算型)	イーストスプリ	7.1	8.1	0.5	330	36	94
国際インド債券オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	6.2	6.2	0.1	75	1	9
ニッセイ短期インド債券ファンド(年2回決算型)	ニッセイ	5.3	3.5	-3.9	92	-3	-12
アジア社債ファンドB(為替ヘッジなし)	日興	5.3	3.5	-4.5	423	-9	115
ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	5.3	3.4	-3.9	622	-18	-30
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村	5.2	5.6	-1.3	910	46	208
インド債券ファンド(毎月分配型)	三井住友	4.8	6.5	-1.3	628	-4	-69
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	AM-One	4.5	4.2	-5.8	190	-1	-5
DWSロシア・ルーブル債券投信(毎月分配型)	ドイチェ	4.1	8.2	5.7	79	8	2
DWSロシア・ルーブル債券投信(年2回決算型)	ドイチェ	4.1	8.4	6.1	65	4	-1
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(米ドル)	日興	3.6	7.6	-0.9	258	-3	-26
グローバル・エマージング・ボンド	三菱UFJ国際	3.4	2.3	-3.6	223	-2	-9
エマージング・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	3.2	4.1	-1.8	316	-4	-17
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨)毎月	野村	3.2	8.5	3.8	83	-2	-10

💡 円安がリターンを押し上げ

- 11月も資金流入が継続。ただし、新興国通貨連動型全体からは流出が継続しており、ヘッジなしファンド、円ヘッジファンドが流入超となった。
- 1ヵ月リターンは、円安の影響から為替ヘッジなしファンド(主に米ドル)、豪ドル・ヘッジファンドのリターンが上位。一方、メキシコペソ・ヘッジ、トルコリラ・ヘッジ、円ヘッジファンドが下位。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィデリティ・USハイ・イールドF	フィデリティ	116	645	208	8,732	6.7	6.7
ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)	日興	84	296	290	462	9.9	14.0
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	68	445	511	1,432	-0.8	17.2
フィデリティ・グローバル・ハイ・イールドF(毎月決算型)	フィデリティ	49	261	456	1,606	5.3	4.4
みずほUSハイ・イールドオープン B	AM-One	35	167	207	975	6.5	7.3
ミュージニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	日興	32	81	81	107	2.9	11.6
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	28	91	58	543	-0.5	20.9
米国ハイ・イールド債券ファンド ブラジルレアル	AM-One	28	84	83	295	0.1	20.6
野村米国ハイ・イールド債券投信(円)毎月分配型	野村	17	251	327	482	-0.8	4.3
高利回り社債オープン・為替ヘッジ(毎月分配型)	野村	12	22	-1	260	-0.6	6.5
ミュージニッチ米国BDCファンド(年2回決算型)	日興	7	26	16	120	9.9	14.1
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドル)毎月分配型	野村	7	44	44	196	5.3	6.9
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRLレアル)毎月	野村	7	36	36	131	-0.3	18.4
みずほUSハイ・イールドオープン A	AM-One	6	2	-45	323	-0.5	5.3
米国ハイ・イールド債券オープン ブラジルレアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	5	14	9	77	0.7	18.4

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	-0.5	20.9	22.4	543	28	91
米国ハイ・イールド債券ファンド ブラジルレアル	AM-One	0.1	20.6	22.1	295	28	84
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	大和	-0.4	20.2	22.9	111	-2	-13
ダイワ米国高金利社債F ブラジルレアル(毎月分配型)	大和	-0.5	19.7	20.6	214	-1	-12
エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルレアル)	日興	-2.0	18.6	19.4	265	-5	-75
新光グローバル・ハイ・イールド債券ファンド(ブラジルレアル)	AM-One	-1.1	19.5	19.2	194	-6	-39
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルレアルファンド	三井住友	-0.2	18.9	19.5	149	-2	-19
PIMCO米国ハイ・イールド債券通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	-0.4	18.6	19.7	583	-15	-142
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRLレアル)毎月	野村	-0.3	18.4	19.1	131	7	36
米国ハイ・イールド債券オープン ブラジルレアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	0.7	18.4	23.0	77	5	14
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	-0.8	17.2	19.2	1,432	68	445
アムンディ・リソな米国ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	アムンディ	-1.0	17.1	19.5	248	5	-9
DWS欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイツ	0.5	16.6	18.0	748	-14	-112
リソなアジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	損保日本興亜	0.1	16.4	20.7	78	2	-7
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	-1.2	16.1	16.5	308	-2	-16

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

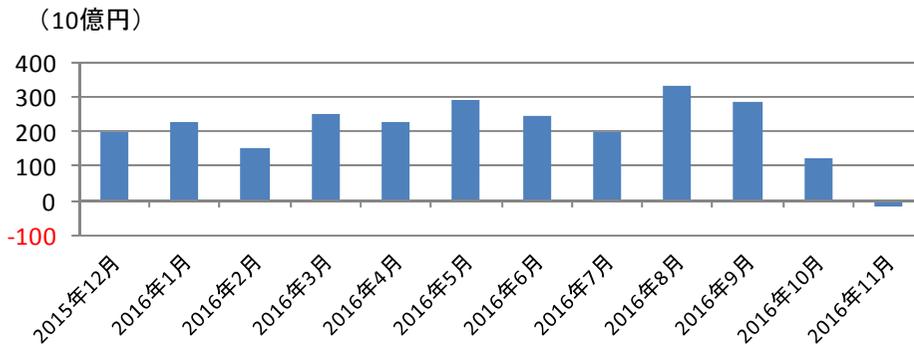
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ミュージニッチ米国BDCファンド(年2回決算型)	日興	9.9	14.1	0.7	120	7	26
ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)	日興	9.9	14.0	0.6	462	84	296
先進国高利回り社債F(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2014-12	三菱UFJ国際	7.6	6.3	-1.8	107	-1	-7
フィデリティ・USハイ・イールドF(資産成長型)	フィデリティ	6.8	6.9	-0.1	210	-10	13
米国ハイ・イールド債券ファンド 米ドル	AM-One	6.7	9.5	1.9	136	4	6
フィデリティ・USハイ・イールドF	フィデリティ	6.7	6.7	-0.3	8,732	116	645
米国短期ハイ・イールド債券オープン	岡三	6.7	4.6	-2.8	107	-1	24
東京海上Rogeeグローバルインフラ・ハイ・イールド債券F(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	東京海上	6.5	2.6	-6.4	34	-3	-18
米国ライフライン好利回り債券F(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07	バインブリッジ	6.5	4.5	-2.0	69	-1	-4
みずほUSハイ・イールドオープン B	AM-One	6.5	7.3	0.8	975	35	167
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券F(米ドル)	アムンディ	6.4	3.9	-5.0	220	-6	-2
野村米国好利回り社債投信 D	野村	6.3	8.0	-0.2	116	-0	-4
高利回り社債オープン(毎月分配型)	野村	6.3	8.5	0.9	324	-1	3
野村米国ハイ・イールドF(毎月決算型)	野村	6.2	8.4	0.8	136	1	0
三井住友・米国ハイ・イールド債券ファンド(為替ノーヘッジ型)	三井住友	6.1	6.7	-0.9	122	-1	-3

💡 2年ぶりの資金流出超

- 投信市場への資金流入をけん引してきたREITファンドだが、2014年11月以来、2年ぶりの資金流出超を記録した。海外REITへの資金流入が細ったことが主な要因となっている。
- 1ヵ月リターンでは、円安が進行した影響から、米REITや米ドルヘッジのJ-REITファンド等が上昇した。

<資金流入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル	AM-One	99	551	560	586	1.7	8.6
GS米国REITファンドB(毎月分配型・為替ヘッジなし)	G S	58	889	1,868	3,385	7.6	1.1
ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B	大和	58	1,044	2,251	7,017	7.3	-0.4
ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	大和	54	500	601	2,179	0.8	-3.9
バインブリッジUS優先REITファンド2016-11<為替ヘッジあり>	バインブリッジ	45	45	45	45	-	-
しんきんリートオープン(毎月決算型)	しんきん	36	347	528	2,430	1.0	-4.4
ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)	大和	29	641	1,397	7,073	7.3	-0.5
MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	AM-One	29	147	83	1,764	0.8	-3.9
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	27	252	373	375	6.0	-2.8
通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配)	大和	24	101	113	163	1.1	10.2
ニッセイ・オーストラリアリート・オープン(毎月決算型)	ニッセイ	23	242	296	350	5.3	-2.0
国際アジアリートF<インドルビー>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	23	93	109	167	0.1	5.9
ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	ニッセイ	22	16	-517	2,539	0.8	-4.0
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)豪ドル	AM-One	19	141	156	164	6.4	2.1
フィデリティJリート・アクティブ・ファンド	フィデリティ	15	102	120	165	1.5	-3.0

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
楽天USリート・トリプルエンジン(レアル)毎月分配型	楽天	7.8	13.9	3.6	598	-7	-73
野村北米REIT投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	3.4	12.4	18.4	84	-2	-1
通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配)	大和	1.1	10.2	14.5	163	24	101
グローバルリート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)	SBI	1.6	9.7	13.6	238	5	35
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル	AM-One	1.7	8.6	15.1	586	99	551
東京海上J-REIT投信(ブラジルレアル)年2回決算型	東京海上	1.5	8.4	15.4	48	-5	-16
東京海上J-REIT投信(ブラジルレアル)毎月分配型	東京海上	1.4	8.3	15.3	571	-19	-97
ドイチェ・グローバルREIT投信(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイチェ	-1.2	7.7	11.5	212	-6	-18
アジアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	1.9	6.0	1.7	61	-2	-12
国際アジアリートF<インドルビー>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	0.1	5.9	0.9	167	23	93
インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(豪ドル)	岡三	8.3	5.7	-7.4	84	-1	-5
アジア好利回りリート・ファンド	三井住友	2.2	2.6	2.0	2,033	-45	-530
東京海上J-REIT投信(豪ドル)毎月分配型	東京海上	6.6	2.2	-0.2	737	-18	-84
東京海上J-REIT投信(豪ドル)年2回決算型	東京海上	6.7	2.1	-0.2	52	-2	-5
インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(米ドル)	岡三	9.7	1.4	-11.7	359	-5	-21

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

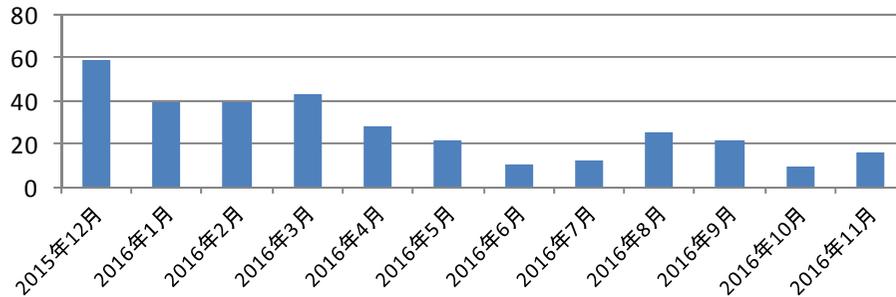
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ Jリート不動産株F<米ドル投資型>(3ヵ月決算型)	三菱UFJ国際	12.0	-1.1	-15.5	68	-4	-14
インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(米ドル)	岡三	9.7	1.4	-11.7	359	-5	-21
インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(豪ドル)	岡三	8.3	5.7	-7.4	84	-1	-5
東京海上J-REIT投信(米ドル)毎月分配型	東京海上	7.9	-2.6	-4.9	330	-16	-48
東京海上J-REIT投信(米ドル)年2回決算型	東京海上	7.9	-2.7	-4.8	240	-14	-36
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)米ドル	AM-One	7.8	-2.1	-4.9	224	12	151
楽天USリート・トリプルエンジン(レアル)毎月分配型	楽天	7.8	13.9	3.6	598	-7	-73
フィデリティUSリート・ファンドD(資産成長型)(為替ヘッジなし)	フィデリティ	7.7	-0.6	-4.0	150	-0	23
GS米国REITファンドB(毎月分配型・為替ヘッジなし)	G S	7.6	1.1	-2.6	3,365	58	889
フィデリティUSリート・ファンドB	フィデリティ	7.6	-0.5	-3.6	15,436	8	4,139
三菱UFJ Jリート不動産株F<Wプレミアム>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	7.4	-3.7	-11.6	211	-17	-80
ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B	大和	7.3	-0.4	-5.4	7,017	58	1,044
ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)	大和	7.3	-0.5	-5.4	7,073	29	641
新光US-REITオープン	AM-One	7.3	-0.6	-5.6	15,411	-54	2,599
SMTグローバルREITインデックス・オープン	三井住友トラスト	7.3	-2.6	-6.4	128	-0	0

💡 安定した資金流入が続く

- 資金流入上位の2ファンドに支えられているものの、複合資産には安定した資金流入が続いている。
- 11月は相場環境が好転したことで、「積極型」や「為替ヘッジなし」といったリスク資産の比率が高いファンドの上昇が目立った。

<資金流入金額推移>

(10億円)



<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
先進国債券・茨城栃木関連株式バランスファンド	野村	203	203	203	204	-	-
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	111	1,170	1,888	2,630	0.1	-0.5
スマートファイブ(毎月決算型)	日興	52	339	422	663	1.1	-1.4
JPMベスト・インカム(毎月決算型)	JPモルガン	44	218	417	699	-1.2	1.3
アムンディ・ダブルウォッチ	アムンディ	40	164	252	251	-1.1	-1.0
トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際	33	116	206	1,074	-0.7	-0.2
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	三井住友	31	177	260	336	0.8	1.3
JP日米バランスファンド	JP投信	18	18	18	18	-1.3	-
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	三井住友	16	83	142	227	2.0	2.8
ニッセイオーストラリア利回り資産F(毎月決算型)	ニッセイ	16	99	169	239	6.2	5.2
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	三井住友	13	71	135	219	3.2	3.6
東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上	13	134	194	221	0.1	-0.5
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン	12	96	200	1,231	5.4	1.4
ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	ビクテ	11	52	107	362	0.3	1.2
のむらっぴ・ファンド(やや保守型)	野村	11	11	11	11	-	-

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(ブラジルレアル)	日興	-0.1	18.0	12.8	278	-6	-49
エマージング・プラス(成長戦略)	日興	2.1	14.7	3.9	164	-4	-36
トヨタグループ・バランスファンド	三井住友	8.0	11.3	-4.9	84	-1	0
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	10.1	5.3	111	-6	-26
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.1	10.1	5.3	120	-5	-29
ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式)2021-01	大和	2.2	9.7	17.8	130	-6	-40
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(インドルピー)	日興	2.7	9.4	0.9	59	-1	-8
ハッピーエイジング・ファンド20	損保日本興亜	8.1	9.3	-4.4	85	-1	1
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散	AM-One	3.5	9.0	5.3	125	-5	-19
ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)2021-01	大和	1.7	7.9	10.3	42	-2	-12
ダイワノフィデリティ・アジア3資産分散ファンド	大和	4.0	7.6	-1.5	76	-1	-7
ハッピーエイジング・ファンド30	損保日本興亜	6.8	7.0	-3.7	104	0	1
UBSニュー・メジャー・バランス・ファンド(毎月分配型)	UBS	1.5	6.4	-0.3	108	-1	-9
タフ・アメリカ(ヘッジなし 資産成長型)	大和住銀	7.7	5.5	-2.9	92	-2	-11
タフ・アメリカ(ヘッジなし 毎月決算型)	大和住銀	7.7	5.5	-2.8	319	-8	-49

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

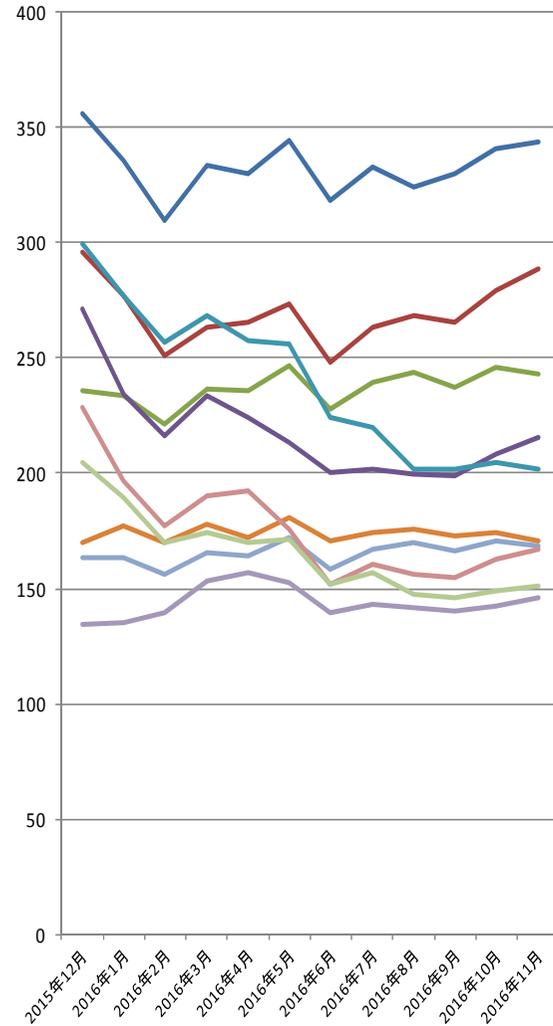
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ハッピーエイジング・ファンド20	損保日本興亜	8.1	9.3	-4.4	85	-1	1
トヨタグループ・バランスファンド	三井住友	8.0	11.3	-4.9	84	-1	0
タフ・アメリカ(ヘッジなし 資産成長型)	大和住銀	7.7	5.5	-2.9	92	-2	-11
タフ・アメリカ(ヘッジなし 毎月決算型)	大和住銀	7.7	5.5	-2.8	319	-8	-49
米国ツイン・スターズ・ファンドB(為替ヘッジなし)	明治安田	7.1	4.2	-4.4	63	-4	-17
のむらっぴ・ファンド(積極型)	野村	6.8	1.4	-5.9	184	0	7
ハッピーエイジング・ファンド30	損保日本興亜	6.8	7.0	-3.7	104	0	1
グローバル・アロケーション・オープンB(年4回決算)	AM-One	6.6	3.1	-8.0	1,351	-39	-175
日興BR・ハイ・クオリティ・アロケーションF(為替ヘッジなし)	三井住友	6.6	3.0	-8.2	1,392	-46	-357
グローバル・アロケーション・オープンA(年1回決算)	AM-One	6.6	3.1	-8.0	174	-4	-14
グローバル・アロケーションF年2回決算・ヘッジなし(目標抽出型)	AM-One	6.5	4.5	-8.5	103	-3	-23
シュローダー・インカムアセット・アロケーションA(毎月決算型)	シュローダー	6.5	3.1	-5.6	60	-1	-2
グローバルドライブ(3ヵ月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	6.5	2.9	-8.1	117	-5	-31
グローバル・アロケーションF毎月決算・ヘッジなし(目標抽出型)	AM-One	6.4	4.2	-9.2	1,102	-51	-299
日興BR・ハイ・クオリティ・アロケーションF(為替ヘッジなし/年2回決算)	三井住友	6.4	3.2	-7.2	56	-2	-14

【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移1

＜純資産残高上位10ファンド1＞

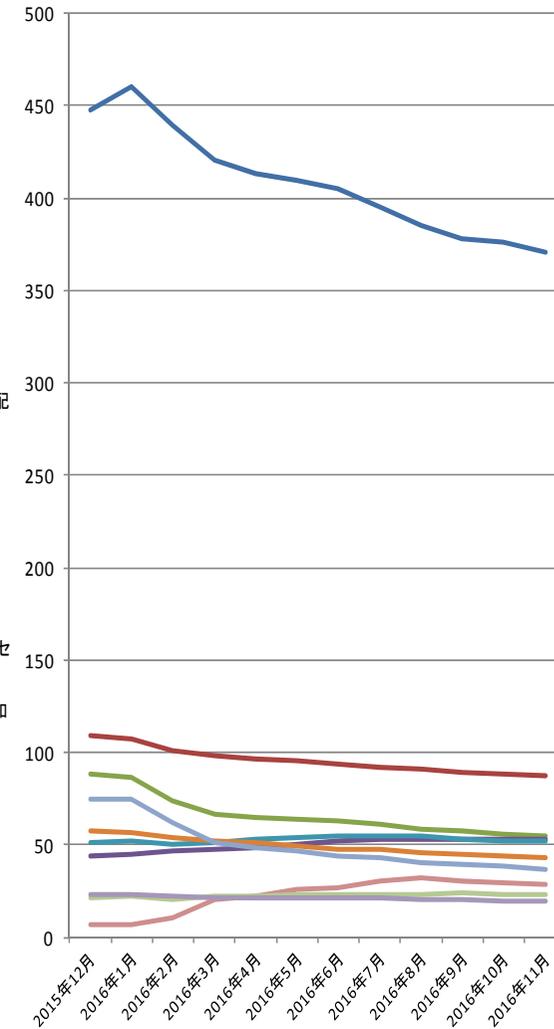
■国内株式

(10億円)



■国内債券

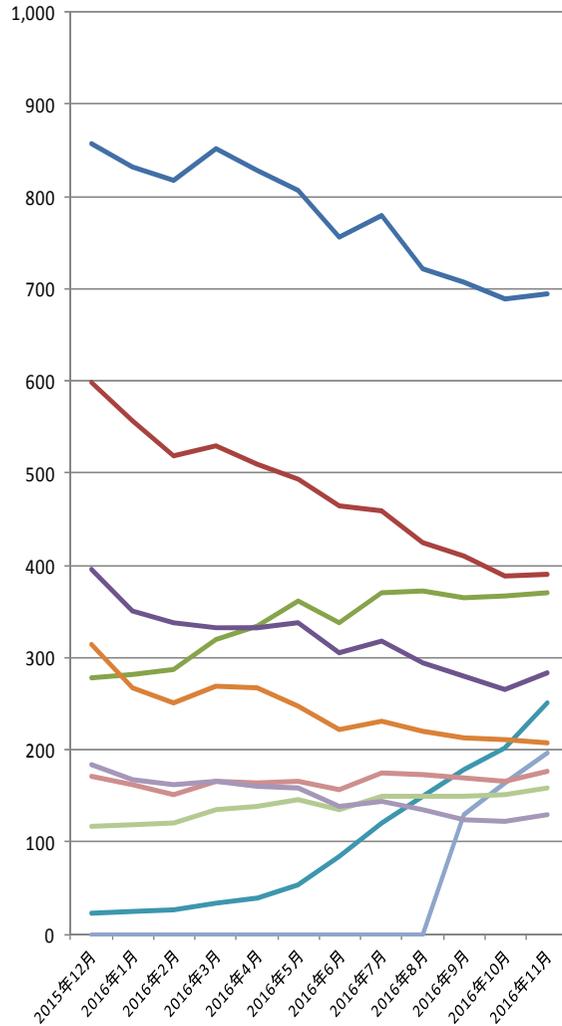
(10億円)



＜純資産残高上位10ファンド2＞

■先進国株式

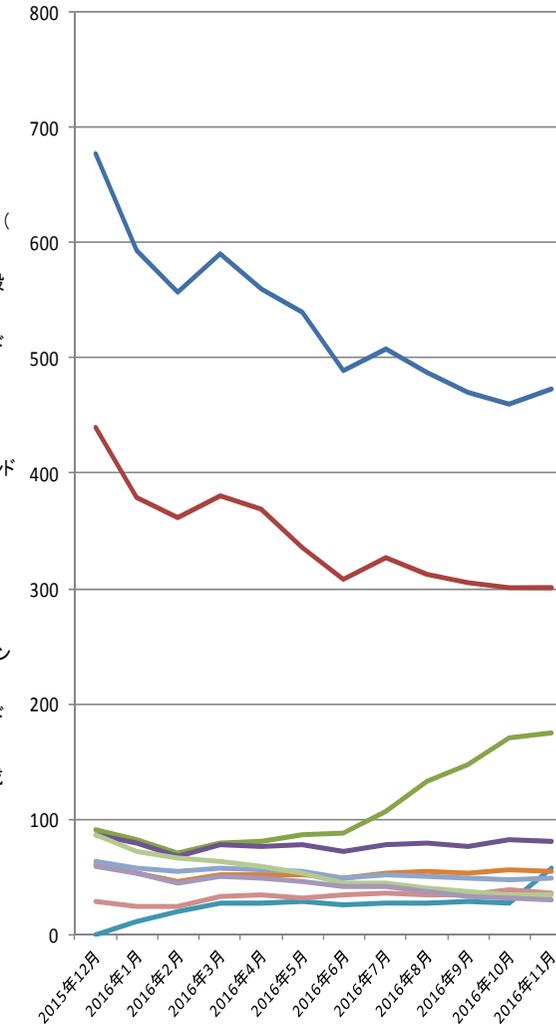
(10億円)



- ピクテ・グローバル・インカム株式F (毎月分配型)
- 野村ドイチェ高配当インフラ関連株投信(米ドル)毎月
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- グローバル・ヘルスケア&バイオF
- LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)
- 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配
- グローバルAIファンド
- ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)
- アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信D

■エマージング株式

(10億円)

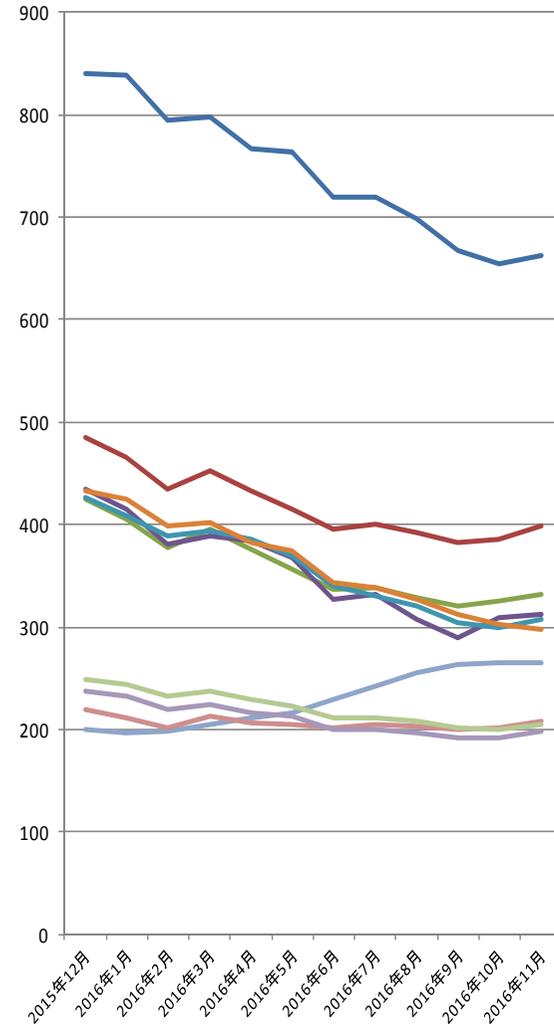


- アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
- ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
- 野村インド株投資
- イーストスプリング・インド株式オープン
- ダイワ/ミレーアセット垂細垂株式ファンド
- HSBCインドオープン
- 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン
- HSBCブラジルオープン
- アジア・ヘルスケア株式ファンド
- 高成長インド・中型株式ファンド

＜純資産残高上位10ファンド3＞

■先進国債券

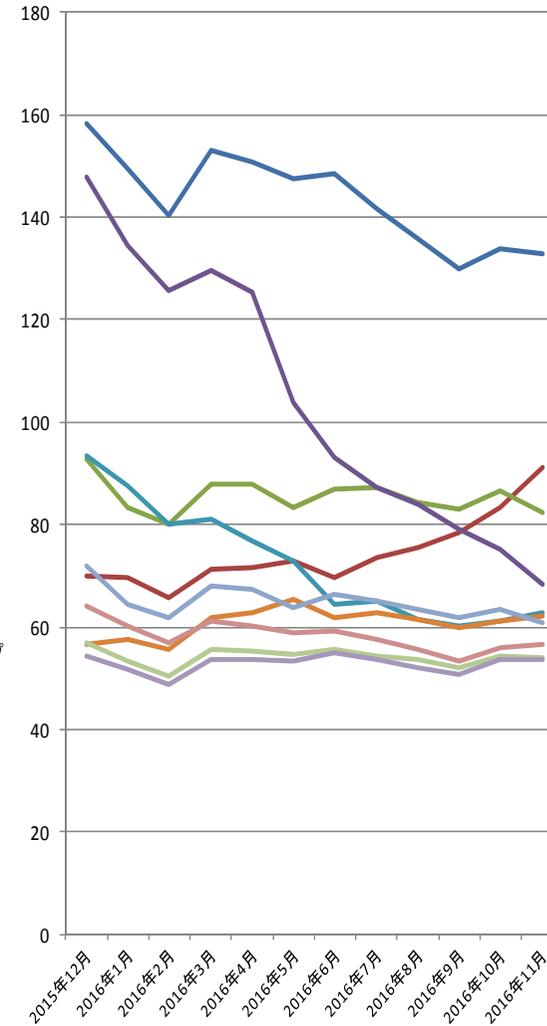
(10億円)



- グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
- ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)
- 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)
- 野村テンブルトン・トータル・リターンD
- ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)
- 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
- UBS世界公共インフラ債券投信円(毎月分配型)
- 三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
- ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

■エマージング債券

(10億円)

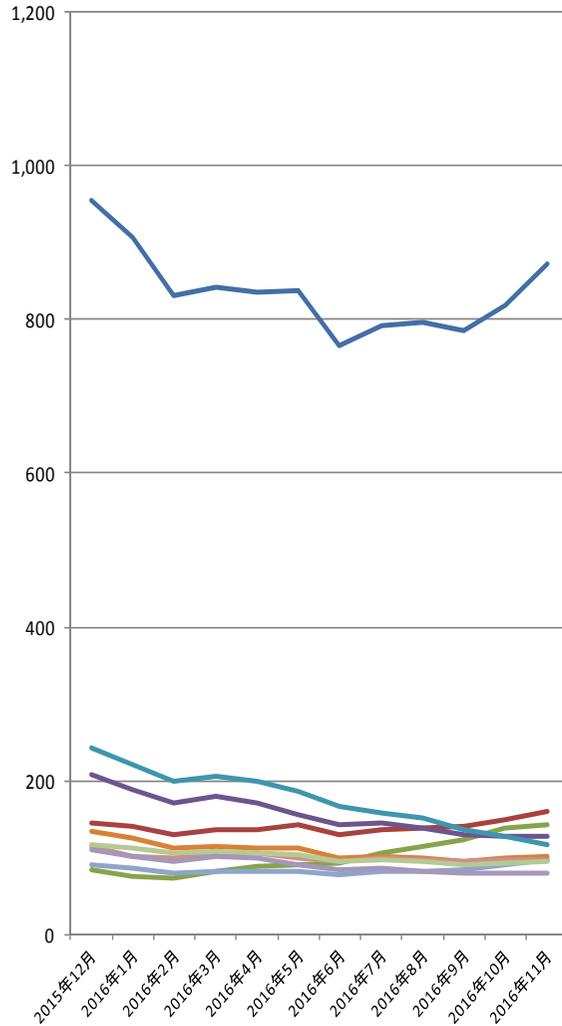


- ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- 野村インド債券ファンド(毎月分配型)
- 三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)
- 日興ビムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(トルコリラ)
- インド債券ファンド(毎月分配型)
- ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)
- (通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)
- 新光ブラジル債券ファンド
- ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)
- LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)

＜純資産残高上位10ファンド4＞

■ハイイールド債券

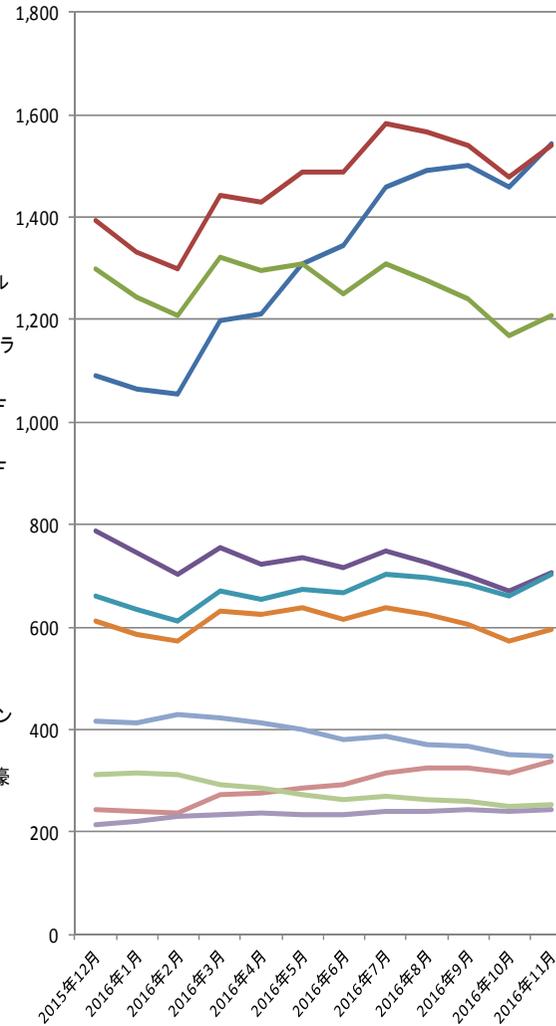
(10億円)



- フィデリティ・USハイイールドF
- フィデリティ・グローバル・ハイイールドF (毎月決算型)
- 野村米国ハイイールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型
- アムンディ・欧州ハイイールド債券F (豪ドル)
- アムンディ・欧州ハイイールド債券F (トルコリラ)
- GSハイイールド・ボンド・ファンド
- みずほUSハイイールドオープンB
- 野村グローバル・ハイイールド債券投信(資源国通貨)毎月分配型
- ピムコハイ・インカム毎月分配型ファンド
- 欧州ハイイールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)

■REIT

(10億円)



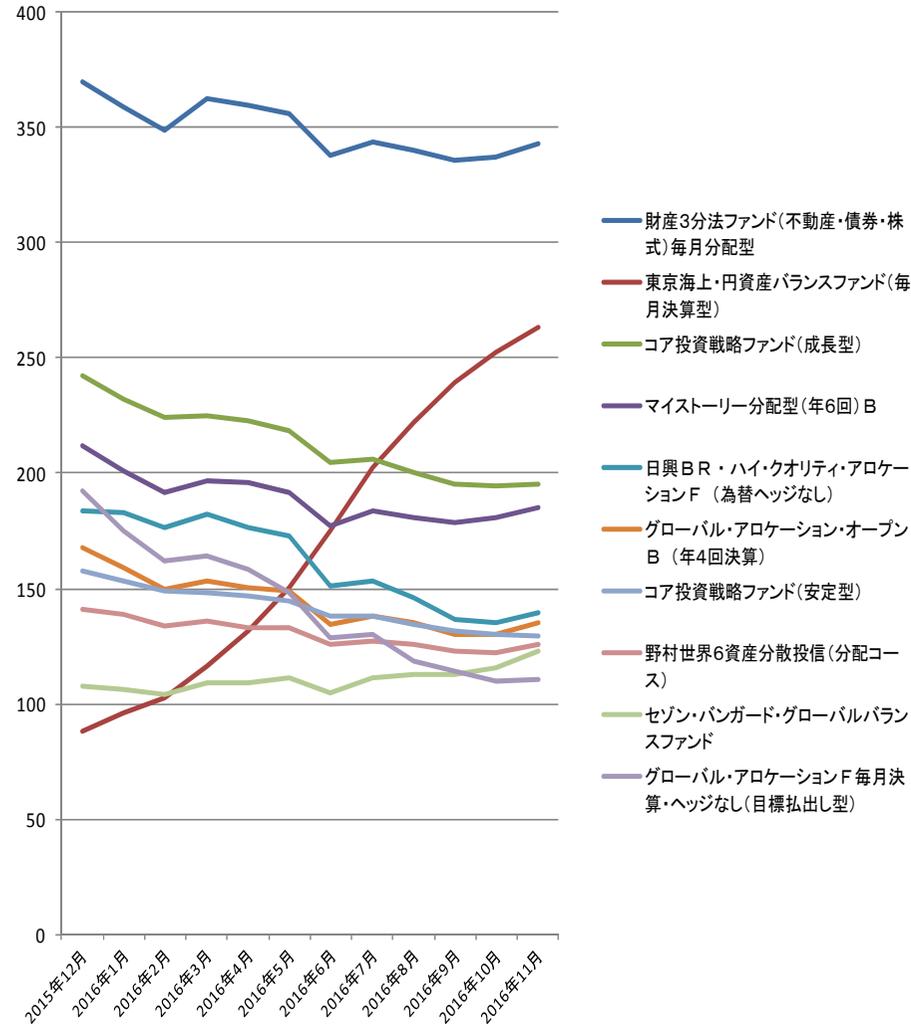
- フィデリティ・USリート・ファンドB
- 新光US-REITオープン
- ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
- ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)
- ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B
- ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
- J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)
- GS米国REITファンドB(毎月分配型・為替ヘッジなし)
- ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)
- しんきんJリートオープン(毎月決算型)

【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移5

<純資産残高上位10ファンド5>

■ 複合資産

(10億円)



- **国内株式型**

国内株式を主たる投資対象とするファンド。

- **国内債券型**

国内債券を主たる投資対象とするファンド。

- **外国株式型**

外国株式のうち、先進国の株式を主たる投資対象とするファンド。先進国とはMSCI-KOKUSAI構成国とします。

- **エマージング株式型**

外国株式のうち、新興国の株式を主たる投資対象とするファンド。新興国とはMSCIワールドに含まれない国とします。

- **外国債券型**

外国債券のうち、先進国の債券を主たる投資対象とするファンド。先進国とはシティWGBI採用国とニュージーランドとします。

- **エマージング債券型**

外国債券のうち、新興国の債券を主たる投資対象とするファンド。新興国とはシティWGBIに含まれない国からニュージーランドを除いた国とします。

- **ハイイールド債券型**

外国債券のうち、ハイイールド債券を主な投資対象とするファンド。ハイイールド債券とはエマージング債券を含めて格付けBB以下の投資不適格債とします。

- **複合資産型**

株式および債券を主たる投資対象とするバランス型ファンド。

- **REIT(不動産投信型)**

REITを主たる投資対象とするファンド。国内REIT、外国REIT双方を含みます。

- **その他**

上記いずれの分類にも属さないファンド。CBファンドもこの分類に入ります。

2016年12月 今月のトピック

『2018年10月より
株式の売買単位はすべて100株に』

アナリスト 神田 泰伸

2016年12月15日作成

今回は、2018年10月より株式売買単位が100株へ統一されることになった背景等についてご紹介します。

『ポイント』

- 2014年4月以降、売買単位は100株と1,000株の2種類に集約されてきましたが、2018年10月より、東京証券取引所をはじめとする全国の証券取引所で株式の売買単位が100株に統一されます。
- 2016年11月1日時点における100株単位の上場会社の比率は約79.3%となっています。
- 売買単位統一によって投資家の更なる利便性向上が期待されます。

■ 売買単位統一の背景

— 日本取引所グループは、「投資家にとってわかりやすく、より売買しやすい証券市場」を目指し、売買単位の統一化に取り組んできました。現在、株式の取引単位は100株と1,000株の2種類ですが、2018年10月からは、東京証券取引所をはじめとする全国の証券取引所で株式の売買単位が100株に統一されます。

(1) 単元株制度とは

単元株とは、通常の株式取引で売買される売買単位のこと。

一定の株数が1単位となり、基本的に売買は単元株数単位となります。

例えば、株価500円で、1単位100株の銘柄の最低購入代金は
 $500 \times 100 = 50,000$ 円

(2) 以前は8種類もの売買単位が存在

現在1単位は100株と1,000株の2種類ですが、かつては8種類もの単元株があり、誤発注等の原因になる可能性を指摘されていました。

(3) なぜ多種類の売買単位が存在していたか

1982年の商法改正により、「売買単位」というものが導入されました。株券に金額表示があるものを「額面株式」といいます。額面金額は企業が最初に株券を発行した際の金額を表し、「単位株制度」は株券の額面金額が5万円になるように1単位が決まります。

つまり、「1単位の株数 = 5万円 ÷ その発行会社の株式の額面金額」で額面50円ならば
 $50,000 \div 50 = 1,000$ 株単位、額面500円ならば
 $50,000 \div 500 = 100$ 株単位となります。当時、額面金額には20円、50円、500円、50,000円の4種類が存在していました。

その後、2001年の商法改正により、「単位株制度」は「単元株制度」へ移行することとなります。2001年以前、企業は上述した「額面株式」と額面金額の定めがない「無額面株式」のどちらかの形態を選ぶことができました。これが、2001年の商法改正により「額面株式」は廃止され「無額面株式」に一本化されます。同時に、「無額面株式の発行価額は5万円を下ってはならない」という規制が撤廃され、株式の発行価額に対する規制はなくなりました。額面制度の廃止により、「単元株制度」では、企業が自由に最低売買単位（単元）を設定できるようになったため、多数の売買単位が混在することになったのです。

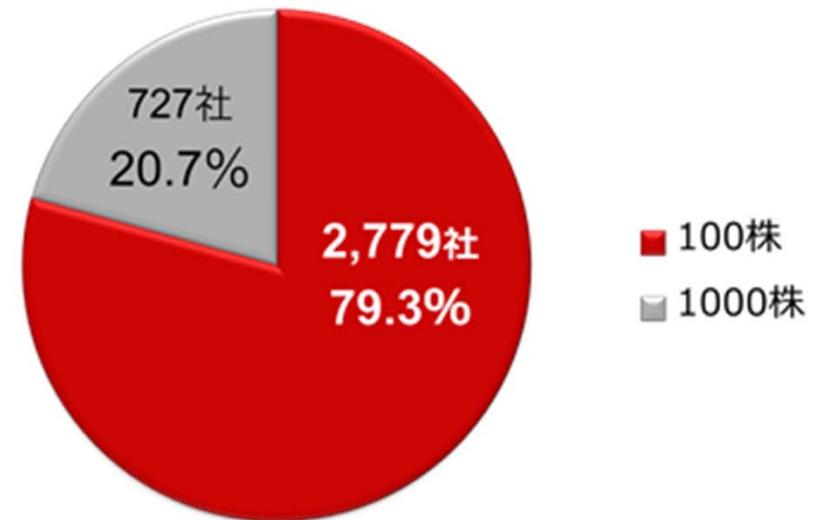
（4）売買単位統一化

売買単位が何種類も存在する市場は国際的にも少数であり、投資家の利便性を低下させる一因となっていたため、全国の証券取引所は2007年11月、「売買単位の集約に向けた行動計画」を公表し、売買単位の統一を図ります。2007年11月当時、日本の市場には1株、10株、50株、100株、200株、500株、1,000株、2,000株の8種類もの売買単位が混在していました。これだけ売買単位が多いと、ある銘柄を購入するとき「この銘柄の売買単位は・・・株だから、最低購入金額は・・・」などといちいち確認する必要がありました。このことが投資家の利便性低下の一因であり、また誤発注のリスクもあったことから、売買単位の統一が図られたのです。

■ 100株単位の上場会社の比率(2016年11月1日現在)

100株単位の上場会社の比率・社数

79.3% (2,779社)



単元変更開示済み企業は100株単位として集計

出所) : 日本取引所グループHPより三菱アセット・ブレインズ作成

■ 売買単位の統一が与える影響

売買単位の統一によって、発行企業側のメリット・デメリットはどういったものがあるのでしょうか？

まず、メリットですが、単純に1,000株単位の銘柄が100株単位に変更した場合、最低購入代金が10分の1になりますので、流動性の向上・取引の活性化が期待されます。

株式分割を行うのと同じような効果が得られるわけです。反対にデメリットですが、管理コストの増大が挙げられます。最低購入代金がかかることで、今まで高くて手が出せなかった個人投資家等が増え、結果的に株主の管理コストが懸念されます。

個人投資家にとっては、大きなメリットがあります。まず、最低購入代金がかかることが挙げられます。今までに1単元購入（1,000株単位）するのに100万円、200万円必要だったものが、100株単位に変更されることにより1単元購入するのに10分の1の10万円、20万円と、個人投資家でも手の届きやすい金額まで下がります。

また、購入金額を計算する際に、単純に株価に100を掛ければよいわけですから、利便性の向上につながり、株式市場の活性化につながることを期待されます。

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・佐藤・竹内・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会